HITACHI

FLORA 270W NW6

(Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System)

4 使い勝手を良くする

マニュアルはよく読み、保管してください。

・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、パソコンを使いやすくする設定や、トラブルの解決方法を説明します。必要に応じてお読みください。

■「1 章　使い勝手を調節する」
パソコンを使いやすくする設定を説明します。

■「2 章　消費電力を節約する」
パソコンを使わない間、消費電力を節約する方法を説明します。

■「3 章　付属ソフトウェアの使い方」
付属ソフトウェアの設定方法や役割について説明します。

■「4 章　追加セットアップ」
ドライバーやアプリケーションを個別にセットアップする方法を説明します。

■「5 章　パソコン Q&A」
パソコンの調子がおかしいときや、わからないことがあったときにお読みください。また、『パソコンを準備する』の「トラブルを解決するときには」も、併せてお読みください。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。

マニュアル内で使用している画面およびイラストは一例です。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。

もくじ

1 章

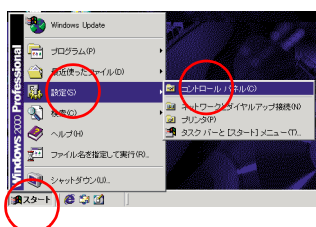
使い勝手を調節する

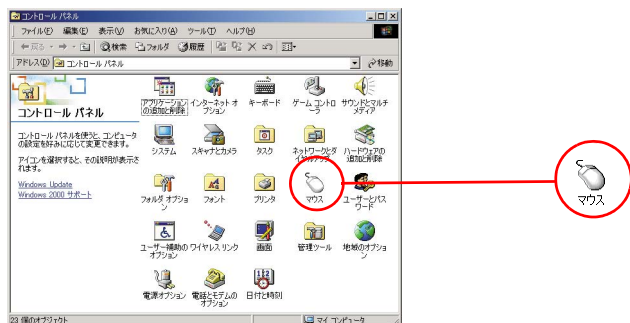
この章では、ポインティングパッドやマウスの調整、ワンタッチキーの設定など、パソコンを使いやすくする方法を説明します。

ポインティングパッドを調整する

ダブルクリックの速度や、マウスポインターの動く速さなど、ポインティングパッドやマウスの設定を自分の使い方に合わせましょう。設定は、[マウスのプロパティ] で変更します。

[マウスのプロパティ] を開く

1 [スタート]ボタン－[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。

▼ [コントロールパネル] 画面が表示される。

2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。

▼ [マウスのプロパティ] 画面が表示される。

ヒント

★ マウスの使い方→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「マウス、テンキーボード」「操作方法」

[マウスのプロパティ] で調節できる主な設定

・クリックボタンの左右の機能を入れ替えたり、ほかの機能を割り当てる（[ボタンの動作] タブ）
・ダブルクリックの速度を変える（[ボタン] タブ）
・マウスカーソルの速度を変える（[動作] タブ）
・キー入力時、ポインティングパッドによる誤動作を防ぐ（[タッチ] タブ）

ダブルクリックの速度を変える

1 **[マウスのプロパティ] の [ボタン] タブをクリックする。**

2 **[ダブルクリックの速度] のを [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。**

3 **アニメーションの上にカーソルを移動させ、ダブルクリックする。**

▼変更した速さでダブルクリックすると、アニメーションが変わる。

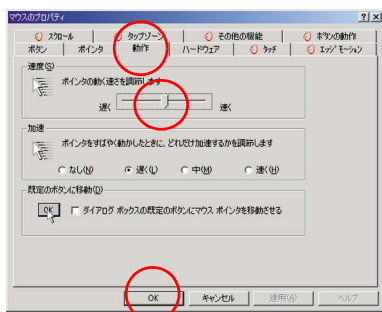
4 **[OK] ボタンをクリックする。**

▼ダブルクリックの速度が変わる。

マウスポインターの動く速さを変える

1 **[マウスのプロパティ] の [動作] タブをクリックする。**

2 **[速度] の を [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。**

▼ マウスポインターの動く速さが変わります。

3 **[OK] ボタンをクリックする。**

▼ 指定したマウスポインターの動く速さに設定される。

一時的にポインティングパッドを使えなくする

文字入力中などに、ポインティングパッドに触れて邪魔に感じるときは、一時的にポインティングパッドを使えない状態にできます。

■[Fn] ＋ [F12]

[Fn] キーを押しながら、[F12] キーを押すと、ポインティングパッドは使用できなくなります。もう一度、[Fn] ＋ [F12] キーを押すと、使用できるようになります。

ヒント

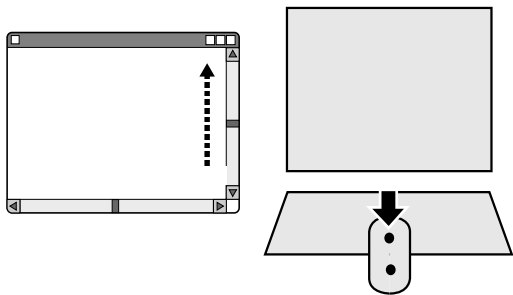
★ **PS/2 仕様のマウスを接続しているときは、[Fn]+[F12] キーに関わらず、ポインティングパッドは使用できません。**

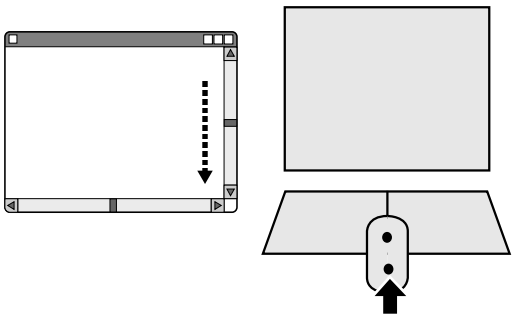
画面をスクロールしよう

ウィンドウに表示されている内容を上下に移動して、見えない部分を表示することをスクロールといいます。スクロールボタンを使うと簡単にスクロールできます。ここでは、その操作方法を紹介します。

スクロールする

■上にスクロールする

スクロールボタンの上部を押すと、上にスクロールします。

■下にスクロールする

スクロールボタンの下部を押すと、下にスクロールします。

重要

◎ アプリケーションによっては、スクロール機能は働きません。

◎ PS/2 仕様のマウスを接続しているときは、スクロールできません。

ヒント

★ [マウスのプロパティ] でスクロールボタンにほかの機能を割り当てたときは、その機能が働きます。

ディスプレイの表示を変える

ここではディスプレイの明るさや表示を変更する方法を説明します。

ディスプレイの明るさを変える

暗くする

■[Fn]+[F8](☼−)

[Fn] キーを押しながら、[F8] キーを押すと画面が暗くなります。
押すたびに暗くなります。

明るくする

■[Fn]+[F9](☼+)

[Fn] キーを押しながら、[F9] キーを押すと画面が明るくなります。
押すたびに明るくなります。

ヒント

★ 暗くするとバッテリーの消費が少なくなり、明るくするとバッテリーの消費が多くなります。

ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの表示を細かく設定することで見やすく目の疲れにくい画面表示にできます。設定は、[画面のプロパティ] で行います。

[画面のプロパティ] の開き方

1 [スタート]ボタン−[設定]−[コントロールパネル]をクリックする。

▼[コントロールパネル] が開く。

2 [画面] アイコンをクリックする。

▼[画面のプロパティ] が表示される。

画面の領域、色、フォントの設定

1 ［画面のプロパティ］の［設定］タブで、画面の領域（画面の解像度）や画面の色を設定する。次の表の組み合わせに従い、［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリックする。

画面の領域（画面の解像度）	画面の色	フォントサイズ（DPI 設定）
640 × 480	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	小さいフォント 大きいフォント その他
800 × 600	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	
1024 × 768	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	

＊ High Color は 65536 色、True Color は 1677 万色です。ただし、ディスプレイによっては True Color に設定しても実際は 1677 万色以下になります。

2 以降、表示されるメッセージに従って操作する。

▼画面の表示モードが設定される。

・表示モードによってはディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調節してください。調節の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。
・アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移動を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、再表示してください。
・パソコンのディスプレイと外付けのディスプレイに同時表示する場合、表示できる最大領域は、いずれのディスプレイもパソコン側の最大領域（1024 × 768）と同じになります。

重要

◎ 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります

ヒント

★ ［背景］タブでデスクトップの壁紙を変更できます。

ヒント

★ 同時表示時は外付けディスプレイも仮想表示になります。

リフレッシュレートの設定

外付けディスプレイにのみ表示して使用しているときは、必要に応じて外付けディスプレイのリフレッシュレートを設定できます。リフレッシュレートとは、1 秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。

1 [画面のプロパティ] の [設定] タブで、[詳細] ボタンをクリックし、プロパティーを開く。

2 [モニタ] タブの [モニタの設定] でリフレッシュレートを選択し、[OK] ボタン (または [適用] ボタン) をクリックする。

3 [モニタの決定] が表示されるので [はい] ボタンをクリックする。

リフレッシュレートの詳細な設定についてはディスプレイに付属のマニュアルをご参照ください。

◎ 同時表示、または内蔵ディスプレイのみ表示する場合は、60Hz でお使いください。

◎ 外付けの液晶ディスプレイを使用するときは、60Hz に設定してください。そのほかのディスプレイについては、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。

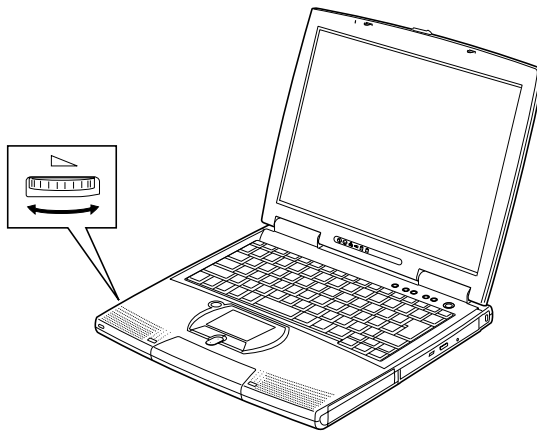
音量を調整する

ここでは内蔵スピーカーの音量を調整する方法を説明します。外部スピーカーを接続している場合は、外部スピーカーのマニュアルもあわせてご参照ください。

重 要

◎ 内蔵マイクと内蔵スピーカー間でハウリングが発生したときは、ディスプレイの角度を変えたり、音量を下げると回避できます。

スピーカーボリュームを使って調整する

パソコンのスピーカーボリュームを回転させて、音量を調整できます。数字が大きくなるに従って、音量も上がります。ボリュームを 0 にすると、音は出ません。

キーボードのキーを使って調整する

キーボードのキーを押して、音量を調整できます。

ヒント

★ キーボードで音量を調節するには、LaunchManager が必要です。LaunchManager は標準でインストールされています。

■音量をあげる（[Fn] + [F6(Vol Up)]）

[Fn] キーを押しながら、[F6] キーを押すと音量があがります。押すたびに大きくなります。

■音量をさげる（[Fn] + [F5(Vol Dn)]）

[Fn] キーを押しながら、[F5] キーを押すと音量がさがります。押すたびに小さくなります。

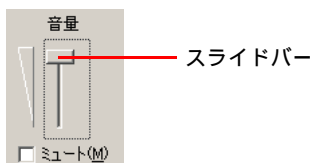
■音を消す（[Fn] + [F3(Mute)]）

[Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押すと音が鳴りません。もう一度押すと元に戻ります。

[音量] アイコンで調整する

1 タスクバーの [音量] アイコンをクリックする。

▼ [音量] を調整するスライドバーが表示される。

2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する。

ヒント

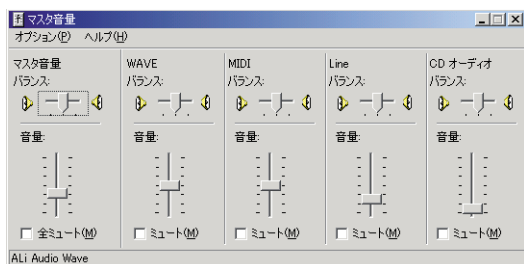
★ [ミュート] にチェック (✔) が付いていると、音が鳴りません。

[マスタ音量] で調整する

Windows の [マスタ音量] を使うと、CD プレーヤーの音量や、録音レベルも調整できます。

1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする。

▼ [マスタ音量] 画面が表示される。

2 音量やバランスを調整したい箇所のスライドバーをドラッグする。

ヒント

★ [スタート] ボタン－[プログラム] －[アクセサリ] －[エンターテイメント] －[ボリュームコントロール] の順にクリックしても、[マスタ音量］ 画面が表示できます。

★ [ミュート] にチェック (✔) が付いていると、音が鳴りません。

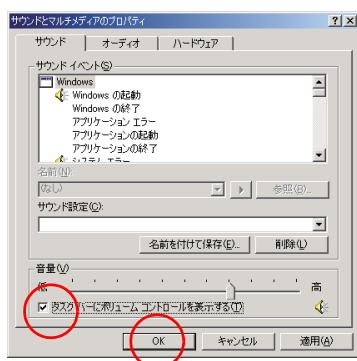
タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックする。**

▼ [コントロールパネル] が表示される。

2 **[サウンドとマルチメディア] をダブルクリックする。**

▼ [サウンドとマルチメディアのプロパティ] 画面が表示される。

3 **[サウンド] タブの「タスクバーにボリュームコントロールを表示する」にチェックを付け、[適用] ボタンを押す。**

4 **[OK] ボタンをクリックする。**

CD/DVDドライブを設定する

DVD-Videoを再生する

(DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブ内蔵パソコンの場合)

このパソコンでDVD-Videoを再生するには、DVD再生ソフトウエアが別途必要です。

DMA転送モード

DVD-ROMドライブのDMA転送モードを使用すると、DVD-Videoの再生能力が向上します。ご購入時はDMA転送モードになっています。

地域コード

DVD-VideoとDVD-ROM&CD-R/RWドライブには､再生可能地域を限定する地域コード(Region Code)が設定されています｡DVD-ROM&CD-R/RWドライブとDVD-Videoの地域コードが同じ設定でないと、DVD-Videoを再生することはできません。

ヒント

★ DVD再生ソフトウェアは、このパソコンのお買い求め先、またはパソコンショップでご購入ください。

重要

◎ DVD-Videoによっては正常に再生されない場合があります。

ヒント

★ 標準では、地域コード2（日本）に設定されています。地域コード2のDVD-Videoをご使用ください。

★ DVD-ROM&CD-R/RWドライブの地域コードは変更することができます。他の地域コードを持つDVD-Videoを再生する場合は、DVD再生ソフトウエア付属のマニュアルをご参照ください。

重要

◎ 地域コードの変更回数は最大4回です｡4回設定を変更すると、それ以降変更ができなくなり、設定以外の地域コードを持つDVD-Videoは再生できなくなります。

ワンタッチキーを設定する

ワンタッチキーや P スイッチを押すと、設定したアプリケーションが立ち上がります。ここでは、設定のしかたを説明します。ご購入時は、次のアプリケーションを立ち上げるように設定されていますので、設定は、必要に応じて変更してください。

■標準の設定

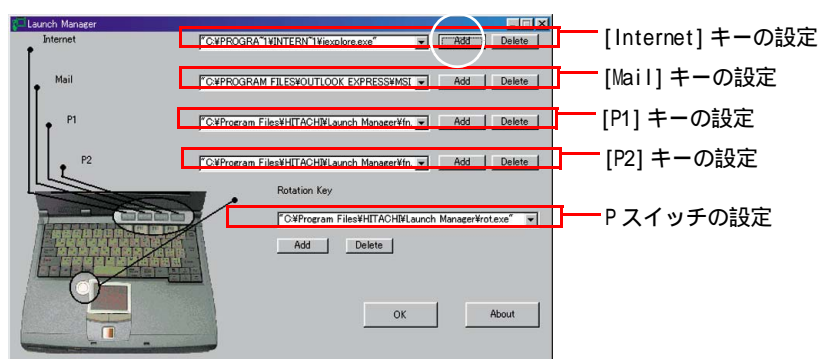
・[Internet] キー：Internet Explorer
・[Mail] キー　：Outlook Express
・[P1] キー　　：Launch Manager
・[P2] キー　　：Launch Manager
・P スイッチ　：Launch Manager

設定のしかた

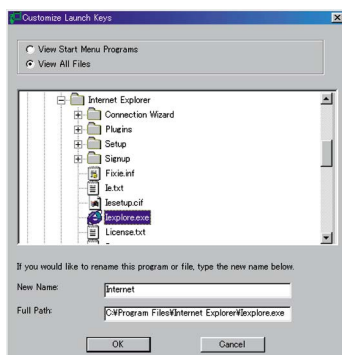
ここでは、[Internet] キーに Internet Explorer を割り付ける場合を例に説明します。

1 Administrator 権限もしくは、Power User 権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [Launch Manager] － [Launch Manager] をクリックする。

▼ [Launch Manager] が表示される。

3 [Add] ボタンをクリックする。

▼ [Customize Launch Keys] が表示される。

4 「View All Files」をクリックして、「C:」ー「Program Files」ー「Internet Explorer」の順に開き、「Iexplore.exe」を選ぶ。

▼「Full Path」にパスが表示される。

5 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Internet] キーにブラウザーが割り付けられる。

6 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Launch Manager] が終了する。

ヒント

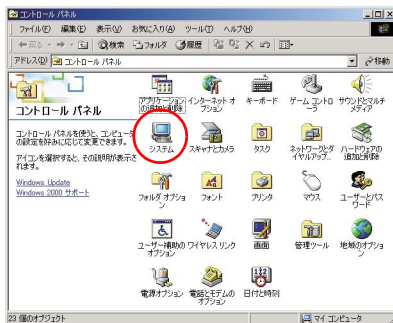
★「New Name」は、[Launch Manager] で表示される名称です。何も指定しないと、選んだプログラム名が表示されます。

システムの設定を確認する

パソコンのメモリー容量や CPU などを確認しましょう。

Windows のバージョンやメモリー量を確認する

1 **[コントロールパネル] 画面を表示する。**

2 **[システム] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [システムのプロパティ] 画面が表示される。

3 **システムの設定を確認する。**

4 **[OK] ボタンをクリックする。**

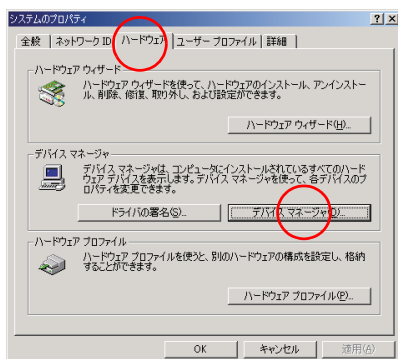
ヒント

★ 画面は一例です。

★ ビデオメモリーとして 8MB 消費しますので、メモリー容量は実際よりも少なく表示されます。

割り込み要求 (IRQ) や I/O ポートアドレスを確認する

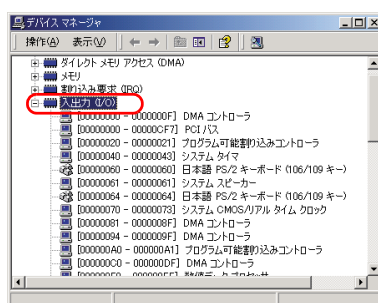
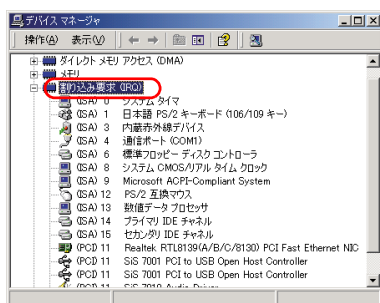
1 **[システムのプロパティ] を表示する。**

2 **[ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。**

▼ [デバイスマネージャ] が表示される。

3 **[表示] − [リソース (種類別)] の順にクリックする。**

▼ 画面が切り替わる。

4 **[割り込み要求 (IRQ)] または [入出力 (I/O)] をダブルクリックする。**

▼ 選んだ項目の設定がリスト表示される。

パスワードで保護する

ここではパスワードの設定方法を説明します。必要なときにだけ設定してください。パスワードを設定すると、正しいパスワードを入力した人だけがパソコンを立ち上げたり、BIOS メニューの内容を変更したりできます。パスワードは BIOS メニューで設定します。

■設定できるパスワード

・Setup Password
BIOSメニューを立ち上げるときにパスワードを入力するかどうかを設定します。
・Power-on Password
パソコンを立ち上げるときにパスワードを入力するかどうかを設定します。
・Hard Disk Password
ハードディスクにパスワードを設定します。設定すると、パソコン立ち上げ時にパスワードを入力する必要があります。ただし、Power-on Password と同じパスワードを設定した場合は、パソコン立ち上げ時 Hard Disk Password を入力する必要がなくなります。

操作の前に、必要なページを印字してください。

パスワードをはじめて登録する

パスワードを設定するために、BIOS メニューを立ち上げます。

1 パソコンの電源を入れる。

重要

◎ パスワードを設定したときは、パスワードをメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合は、お問い合わせください。有償で対処します。

参照

お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

重要

◎ Hard Disk Password を忘れた場合には、データの回復はできません。

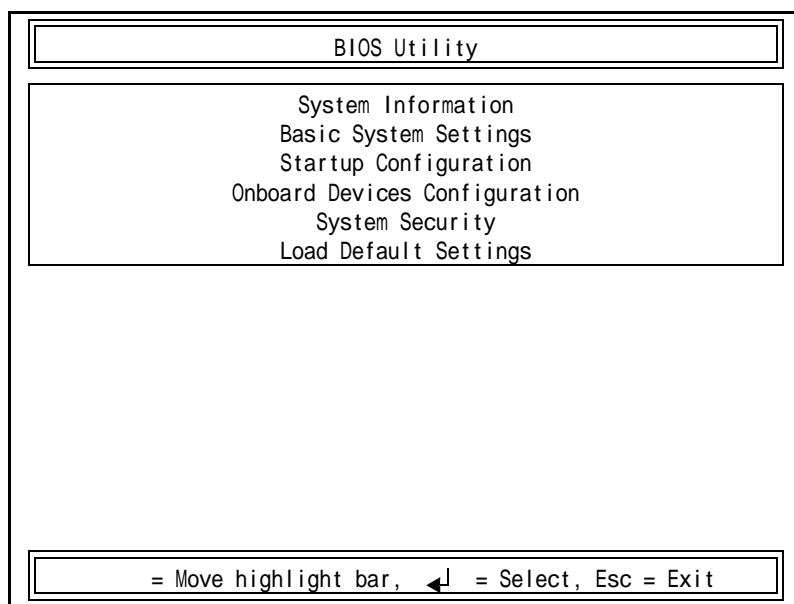
重要

◎ パスワードを設定すると、パスワードの入力画面が表示されます。このとき誤ったパスワードを3回入力すると、パソコンが操作できなくなります。この場合は、一旦パソコンの電源を切ってやり直してください。

重要

◎ BIOS メニューの内容は、ここで説明する以外のものは変更しないでください。変更するとパソコンが正しく動作しないことがあります。

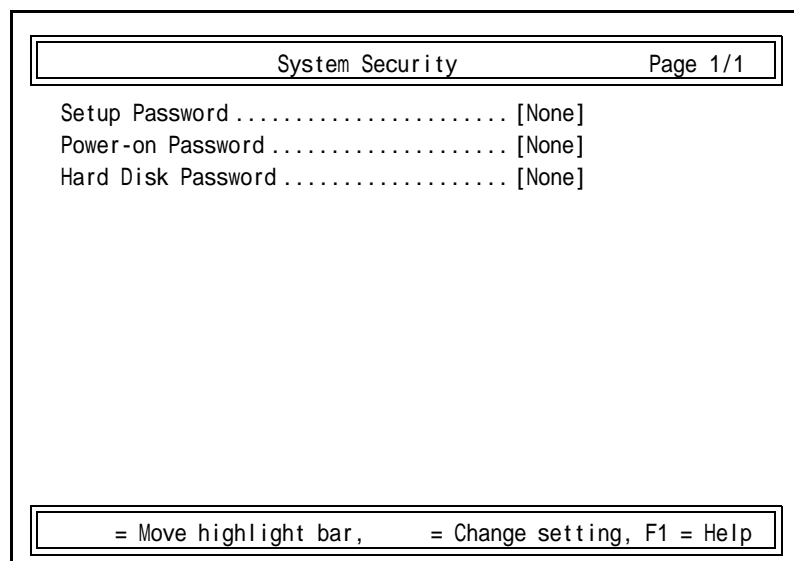
2 パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press<F2> to enter Setup,<F12> to enter MultiBoot Selection Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼ [BIOS Utility] 画面が表示される。

3 [↓] キーで、[System Security] メニューを選び、[Enter] キーを押す。

▼ [System Security] 画面が表示される。

System Security　　Page 1/1

Setup Password .... [None]
Power-on Password .... [None]
Hard Disk Password .... [None]

↑↓ = Move highlight bar, ←→ = Change setting, F1 = Help

パスワードを設定する

1 **[↑] または [↓] キーで、[Setup Password] または [Power-on Password] または [Hard Disk Password] を選び、[←] または [→] キーを押す。**

▼ パスワード入力画面が表示される。

2 **半角 8 桁以内の英数字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

3 **もう一度パスワード入力画面が表示される。**

4 **再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼ 設定したパスワードの項目が「None」から「Present」に変わる。

入力したパスワードが 1 回目と違うときは、次のメッセージが表示される。そのときはパスワードを入力し直す。

パスワードの設定を保存する

設定したパスワードを保存して、セットアップメニューを終了します。

1 **[ESC] キーを押す。**

▼ [BIOS Utility] 画面に戻る。

ヒント

★ パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

ヒント

★ パスワードには数字の 0 ～ 9 とアルファベットの小文字の a ～ z が使えます。

重要

◎ パスワードはメモにとり、安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合は、お問い合わせください。有償で対処します。

参照

お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

2 [ESC] キーを押す。

▼設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

```
Settings have been changed.
Do you want to save CMOS settings?

        [Yes]     [No]
```

3 [←] または [→] キーで [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼設定したパスワードが保存され、自動的にパソコンが立ち上げ直される。

ヒント

★ パスワードを設定しない場合は [No] を選び、[Enter] キーを押してください。パスワードは設定されずに、自動的にパソコンが立ち上げ直されます。

設定したパスワードを変更する

Setup Password、Power-on Password の変更方法は次のとおりです。
Hard Disk Password は、いったんパスワードを削除してから新たに設定してください。

1 [BIOS Utility] 画面で [System Security] メニューを選ぶ。

2 [Setup Password] または [Power-on Password] を選び、[←] または [→] キーを押して、設定値を「Present」から「None」にし、[←] または [→] キーを押す。

▼パスワード入力画面が表示される。

3 半角 8 桁以内の数値または文字で新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼もう一度パスワード入力画面が表示される。

4 手順 3 で入力したパスワードを再度入力し、[Enter] キーを押す。

▼設定したパスワードの項目が、自動的に「None」から「Present」に変わる。

入力したパスワードが 1 回目と違うときはメッセージが表示されるので、パスワードの入力をやり直す。

5 変更内容を保存してセットアップメニューを終了する。

パスワードを削除する

Setup Password、Power-on Password の場合

1 [BIOS Utility] 画面で [System Security] メニューを選ぶ。

2 [Setup Password] または [Power-on Password] を選び、[←] または [→] キーを押して、設定値を「Present」から「None」にする。

3 変更内容を保存してセットアップメニューを終了する。

Hard Disk Password の場合

1 [BIOS Utility] 画面で [System Security] メニューを選ぶ。

2 [Hard Disk Password] を選び、[←] または [→] キーを押す。

▼パスワード入力画面が表示される。

3 パスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼パスワードが解除され、[None] に変わる。

4 変更内容を保存してセットアップメニューを終了する。

Wake on LAN を設定する

ネットワークからパソコンを立ち上げる信号が流れたときに、電源オフの状態からパソコンを立ち上げることができます。
これを Wake on LAN といいます。

Wake on LAN できる状態

次の状態のときパソコンを立ち上げることができます。
・スタンバイ状態
・休止状態
・電源オフ状態

Wake on LAN の設定

BIOS メニューの設定

標準で使えるように設定されています。

1 **パソコンの電源を入れる。**

2 **パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup, <F12> to enter Multi Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。**

▼ [BIOS Utility] 画面が表示される。

3 **[↓] キーで、[Startup Configuration] メニューを選び、[Enter] キーを押す。**

▼ [Startup Configuration] 画面が表示される。

4 **[Resume on LAN Access] を選び、[←] または [→] キーを押して、設定値を「Enabled」にする。**

5 **[ESC] キーを押す。**

▼ [BIOS Utility] 画面に戻る。

重要

◎ Windows を終了して電源を切っても、LAN などの一部のデバイスには電力が供給されます。
◎ この機能を使うときは、AC アダプターでお使いください。バッテリーでは立ち上がりません。
◎ 電源スイッチを 4 秒以上押して、Windows を強制終了しているときは、パソコンは立ち上がりません。

ヒント

★ [Resume on LAN Access] を設定するには、[Onboard Devices Configuration] の [LAN] を [Enabled] に設定しておく必要があります。

6 [ESC] キーを押す。

▼設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

7 [←] または [→] キーで [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼設定が保存され、自動的にパソコンが立ち上げ直される。

別のディスクから立ち上げる

パソコンの立ち上げ時に、どのドライブから立ち上げるかを設定します。
操作の前に、このページを印字してください。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup, <F12> to enter Multi Boot Menu」と表示されたら、[F12] キーを押す。

▼ [Boot Menu] 画面が表示される。

＊1 ：BIOS メニューの [Onboard Devices Configuration] の [Floppy Disk Controller] を [Disabled] にすると表示されません。
＊2 ：標準の状態では表示されません。BIOS メニューの [Startup Configuration] の [Boot from LAN] を [Enabled] にすると、表示されます。

3 立ち上げたいドライブを [↑][↓] キーで選択し、[Enter] キーを押す。

ヒント

★ [Esc] キーで Boot Menu を終了したときは、BIOS メニューの [Startup Configuration Menu] の [Boot Drive Sequence] で設定した優先順位で立ち上がります。

★ [Boot from LAN] を設定するには、[Onboard Devices Configuration] の [LAN] を [Enabled] に設定しておく必要があります。

重要

◎ 選択したデバイスが無いとき、または選択したデバイスにディスクが入っていないときは、BIOS メニューの [Startup Configuration Menu] の [Boot Drive Sequence] で設定した優先順位で立ち上がります。

◎ 「Intel Boot Agent Setup Program」のメニューは変更しないでください。

2 章

消費電力を節約する

この章では、パソコンの消費電力を節約する方法について説明します。

節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。節約している状態を節電状態と呼びます。

◎ アプリケーションによってはその使用中に節電状態にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。

節電機能の種類

機能	内容	ランプの状態
パソコン全体の節電（スタンバイ）	・CPU クロックを一時的に停止する ・接続した周辺機器への供給電力を減らす ・ディスプレイを消す ・ハードディスクのモーターを停止する	・電源ランプ点灯 ・スタンバイランプ点灯
パソコン全体の節電（休止状態）	・現在の使用状況をハードディスクに保存し、パソコンの電源を切る	・電源ランプ消灯 ・スタンバイランプ消灯
ディスプレイの節電	・ディスプレイを消す	・電源ランプ点灯 ・スタンバイランプ消灯
ハードディスクの節電	・ハードディスクのモーターを停止する	

節電する

消費電力を自動で節約したり、特定のボタンを押して節約できます。

自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。どのくらいの時間で節電されるかは、［コントロールパネル］の［電源の管理オプション］で設定します。

●**標準の状態 (AC 電源での使用時)**

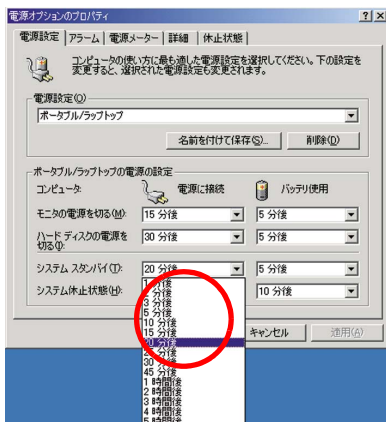
・15 分操作しないと・・・・ディスプレイが節電される
・20 分操作しないと・・・・パソコン全体の節電 (スタンバイ状態) になる

時間を設定する

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電源オプションの管理のプロパティ] 画面が表示される。

2 [電源設定] タブで、各項目にどのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する。

・モニタの電源を切る　　　　：ディスプレイの節電
・ハードディスクの電源を切る：ハードディスクの節電
・システムスタンバイ　　　　：パソコン全体の節電（スタンバイ）
・システム休止状態　　　　　：パソコン全体の節電（休止状態）

重要

◎「システムスタンバイ」を設定しても、時間通りに節電状態にならないことがあります。

◎「システムスタンバイ」と「モニタの電源を切る」を同じ時間に設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。

◎ AC 駆動時、バッテリー駆動時、それぞれの時間を設定できます。

◎「システム休止状態」が表示されないときは、「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」にチェック (✔) を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。

3 [適用] ボタンをクリックする。

すぐに節電

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

[スタート] ボタンから節電

1 [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする。

2 [▼] をクリックし、[スタンバイ] または [休止状態] にして、[OK] ボタンをクリックする。

▼ スタンバイまたは休止状態になる。

電源スイッチで節電

[Fn] キーを押しながら [F4] キーを押すと、スタンバイ状態になります。

この設定は [コントロールパネル] の [電源オプション] で行います。[電源オプション] の設定を変えると、ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを押したときに節電状態にすることもできます。

■標準の状態

・ディスプレイを閉じたとき　：なし（画面表示が消える）
・電源スイッチを押したとき　：電源オフ
・[Fn]+[F4] キーを押したとき ：スタンバイ

■設定方法

1 [スタート] ボタンー [設定] ー [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電源オプションのプロパティ] 画面が表示される。

重要

◎ 音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。

重要

◎ スタンバイ状態にするときはスタンバイランプが点灯するまで、また、休止状態にするときは電源ランプが消灯するまで、キーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

ヒント

★ ポインティングパッドに指などが触れていると、[Fn] + [F4] キーを押しても、節電状態にならないことがあります。

★ 「電源オフ」は、[Windows のシャットダウン] から Windows を終了するのと同様に、4 秒未満電源スイッチや [Fn] + [F4] キーを押すことで電源を切る機能です。

2 [詳細] タブで、各項目を「スタンバイ」や「休止状態」に設定する。

・ポータブルコンピュータを閉じたとき（ディスプレイを閉じたとき）
・コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）
・コンピュータのスリープボタンを押したとき（[Fn] ＋ [F4] キーを押したとき）

3 [適用] ボタンをクリックする。

ヒント

★ 「なし」に設定しても、画面表示は消えます。

★ 「休止状態」が表示されないときは、「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」にチェック (☑) を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。

CPU を節電する (PentiumIII モデルのみ)

CPU の消費電力を節約できます。

Intel® SpeedStep™ Applet をセットアップして、Windows で設定します。使用する電源 (AC、バッテリー) に応じて、PentiumIII モデルでは CPU の消費電力を節約できます。標準で節電するように設定されています。バッテリー起動で使用する場合には、CPU の節電機能をご利用ください。

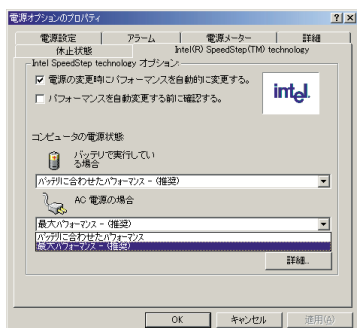
参照

Intel® SpeedStep™ Applet のセットアップ→ 3 章の「Intel SpeedStepTM Technology Applet」(P.41)

節電する

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [電源オプションのプロパティ] 画面が表示される。

2 **[Intel(R)SpeedStep(TM)technology] タブで、[バッテリで実行している場合] と [AC 電源の場合] のパフォーマンスを設定する。**

ヒント

★ シリアルポートをご使用の際は、[電源の変更時にパフォーマンスを自動的に変更する。] チェックボックスを OFF にしてください。シリアルポートが正しく動かないことがあります。

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

ディスプレイの節電状態からの復帰

・[Shift] などのキーを押す
・ポインティングパッドやマウスを操作する

ハードディスクの節電状態からの復帰

・HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイからの復帰

・ディスプレイを閉じているときはディスプレイを開く
・パソコンの電源スイッチを押す

休止状態からの復帰

・パソコンの電源スイッチを押す

重要

◎ 節電状態から復帰させるときは、20 秒以上時間をおいてください。20 秒未満で復帰させると、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
◎ スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。

重要

◎ パソコンの電源スイッチは4秒以上押さないでください。電源が強制的に切れます。
◎ ソフトウェアの環境によってスタンバイから復帰できないことがあります。この場合は、スタンバイ以外の節電をご使用ください。
◎ 休止状態で、FD や CD-ROM などのディスクをドライブに入れないでください。休止状態から復帰したとき、ディスクから立ち上がらなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。このときは、ディスクを取り出し、[Ctrl] と [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押して立ち上げ直してください。
◎ 休止状態からの復帰時に数秒画面が乱れる場合がありますが、動作に問題はありません。

節電機能を使わないようにする

節電状態になるとパソコンが正しく動かなかったり、データが壊れることがあります。ここでは、どんなときに使わないようにするか、またその設定方法を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイにならないようにしてください。これらの機能･プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。
・ 再セットアップ中
・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
・ ディスク（HDD、FD、CD-ROM など）の読み書き中
・ 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
・ プリンターの印字中

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにできます。

1 ［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］をクリックして、［コントロールパネル］を開き、［電源の管理］アイコンをダブルクリックする。

▼［電源の管理のプロパティ］画面が表示される。

2 ［電源設定］タブの各項目を「なし」に設定する。

･［システムスタンバイ］
･［システム休止状態］
･［モニタの電源を切る］
･［ハードディスクの電源を切る］

3 ［詳細］タブの各項目を「なし」または「電源オフ」に設定する。

･［コンピュータの電源ボタンを押したとき］
･［コンピュータのスリープボタンを押したとき］
･［ポータブルコンピュータを閉じたとき］

3 章

付属ソフトウェアの使い方

この章では、付属ソフトウェアの使い方を説明します。

付属ソフトウェアの使い方

このパソコンに付属しているソフトウェアについて説明します。

重要

◎ 付属ソフトウェアは、このパソコン以外では使用しないでください。動作を保証できません。
また、ドライバーなどによっては、ハードウェア故障の原因になります。

ヒント

★ 無線 LAN は 1 ～ 11 チャネルが使用できます。

LAN ドライバー

LAN を使うためのドライバーです。自動的に通信速度やモードを認識して最適な通信環境を設定します。

無線 LAN ドライバー

無線 LAN を使うためのドライバーです。

モデムドライバー

モデムを使うためのドライバーです。

3 モード FD ドライバー

1.44MB、720KB 以外 (1.25MB など) のフォーマットの読み込み、書き込みを可能にするドライバーです。ただし、フォーマットはできません。

サウンドドライバー

サウンド機能を使用する場合に必要なドライバーです。

表示ドライバー

ディスプレイ表示を細かく設定できるようにするためのドライバーです。
細かい表示設定は、[Intel(R) 82830M Graphics Controller] のプロパティーで行います。
[Intel(R) 82830M Graphics Controller] のプロパティーは、[画面のプロパティ] の [設定] タブにある [詳細設定] ボタンをクリックします。[プラグアンド プレイ モニタと Intel(R) 82830M Graphics Controller] のプロパティーの [Intel(R) Graphics Technology] タブにある [グラフィックのプロパティ] ボタンをクリックして開きます。

[画面] のプロパティーまたは [Intel 82830M Graphics Controller] のプロパティー

■[デバイス] タブ
PC モニター、ノートブック、Intel(R) Dual Display Clone、拡張デスクトップを切り替えます。
■[色] タブ
画面のガンマ値を設定します。
■[ホットキー] タブ
[Intel(R) 82830M Graphics Contoroller のプロパティ] を開くホットキーを設定します。
■[Intel(R) Graphics Technology] タブ
チェックをするとタスクバーにビデオ色調整アイコンを表示します。
一度チェックしたあとに、チェックを外すと、ログオン時に System32 が開くことがあります。この場合は再度チェックしたあと、表示される調整画面で終了ボタンを押してください。

タッチパッドドライバー

ポインティングパッドでスクロールなどの拡張機能を使えるようにするためのドライバーです。
マウスのプロパティにタッチパッドドライバー付属のユーティリティーが設定されています。このユーティリティーには、「タッチ」、「エッジモーション」、「スクロール」、「タップゾーン」、「ボタンの動作」、「その他の機能」の 6 つのタブがあり、タッチパッドの機能設定を行うことができます。

重 要

◎ スクロール機能は、アプリケーションによっては機能しないものもあります。
◎ マウス接続時は「ボタンの動作」タブにあるリスト中の「上スクロール」、「下スクロール」、「左スクロール」、「右スクロール」は使用できません。

ヒント

★ タッチパッドドライバーのスクロール機能は、Office や、Windows 付属のアプリケーション (メモ帳など) で使用できます。

スマートカードリーダードライバー

別売のスマートカードアダプターを使うためのドライバーです。

Launch Manager

ワンタッチキー、P スイッチの設定を行うためのユーティリティーです。

参照

設定について→ 1 章の「ワンタッチキーを設定する」(P.17)

オンラインサインアップソフト

推奨プロバイダーへのオンラインサインアップソフトです。サインアップソフトは、次のソフトを用意しています。
・ AOL for Windows(以下、AOL)
・ ODN スターターキット(以下、ODN)
・ ドリームネットサインアップソフト(以下、ドリームネット)
・ OCN スタートパック(以下、OCN)
・ isao.net サインアップ(以下、isao)
・ 東京電話インターネット接続ナビ(以下、東京電話)
・ インターネットするなら BIGLOBE(以下、BIGLOBE)
パソコン付属のカタログやオンラインヘルプを参照してお使いください。
なお、詳しい使い方やプロバイダーに関する情報は、各プロバイダーにお問い合わせください。

BEAMSTAR用ドライバー

別売のBEAMSTARを使うためのプリンタードライバーです。詳しい使い方は、『活用百科』CDの\programs\beamstarフォルダー内のpdfファイル、txtファイルをご参照ください。

VirusScan

Windowsで、コンピュータウイルスを検出するソフトウェアです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。
次の機能があります。

- VirusScan　：ウイルスを検出・除去します
- VShield　：メモリーに常駐してウイルス感染ファイルへのアクセスを監視します
- VirusScanコンソール　：VirusScanのスケジュールの設定が行えます

ヒント

★使用方法の詳細は、VirusScanをインストール後、インストールしたフォルダーのReadme.txtやオンラインヘルプをご参照ください。

VirusScanの使い方について

- VirusScan は新ウィルスに対応するため、常にバージョンアップを行っています。そのため、付属のVirusScanが最新ではない場合があります。その状態でご使用になると、新ウィルスの検出ができません。新ウィルスを検出するためには､｢ウィルスワクチンサービスMC｣の契約を行い､最新のVirusScanを入手してください。
  詳細は、次のアドレスでご確認ください。
  http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/vakzin/mc/vakzin_mc.htm
- VirusScanをインストール中に､[McAfee VirusScanインストールウィザードは正常に完了しました。]画面が表示されます。その画面で[VirusScan常駐プログラムを開始]のチェックを外さないでください。
  外すと、｢Administrator｣以外でログオンした時に、VirusScan が使用できなくなります。修正するには｢Administrator｣でログオンし、VShieldの[システムスキャンプロパティ]の[スキャン]タブをクリックし､[システムスキャンを有効]をチェックしてください。
- VirusScanのインストール時に､[McAfee VirusScan 設定]の｢インストール後にデフォルトのウィルス検査を実行｣にチェックを付けるとパソコン起動時に毎回オンデマンドスキャンが起動しウィルス検査を行います。
- VirusScanのインストールの[セキュリティレベルを設定してください]画面で [標準のセキュリティレベル] を設定しても、[アラートの設定] は｢Administrator｣でログオンしないと設定できません。
- VShieldの[システムスキャンプロパティ]の[スキャン]タブで[圧縮ファイル]にチェックを入れても圧縮ファイルのスキャンを行いません。ただし圧縮、解凍時スキャンを行います。
- First User Switchは、サポートしておりません。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet

使用する電源（AC、バッテリー）に応じて、CPU の消費電力を変更するためのユーティリティーです。

参照
使い方について→、2 章の「CPU を節電する（PentiumIII モデルのみ）」(P.34)

無線 LAN Client Manager

無線 LAN を使用するために必要なユーティリティーです。
ご使用するにあたって、無線 LAN Client Manager のインストールと接続設定を行う必要があります。

参照
無線 LAN Client Manager のインストールについて→ 4 章の「無線 LAN ドライバー」(P.60)

無線 LAN を有効にする

標準の状態では、パソコンを立ち上げた直後は無線 LAN デバイスは無効になっています。
パソコンを立ち上げて約 15 秒待ってから、[Wireless] ボタンを 1 回押して無線 LAN デバイスを有効にしてください。
このとき、次のように、無線 LAN がチェックされた状態が表示されます。

約 6 秒後、この画面は自動的に閉じられます。

重要

◎ [Wireless] ボタンで無線 LAN を切り替えるには、Administrator 権限のあるユーザーでログオンする必要があります。
なお、標準の状態では、起動時に無線 LAN は無効の状態になっています。起動時から常に無線 LAN をご利用になる場合は、BIOS SetUp より下記設定を行ってください。

1. パソコンの電源を入れ、「HITACHI」ロゴ表示時にキーボードの [F2] キーを押す。
2. BIOS Utility 画面の「Onboard Devices Configuration」をキーボードの [↓] キーで選択し、[Enter] キーを押す。
3. 「Wireless LAN Device」を [↓] キーで選択し、[→] キーで「Wireless LAN」を選択し、キーボードの [Esc] キーを押す。
4. BIOS Utility 画面に戻ったら、もう一度 [Esc] キーを押す。
5. [Yes] を選択し、[Enter] キーを押す。

ヒント

★ [Wireless] ボタンは、一時的に、無線 LAN デバイスの使用を切り替えるだけです。パソコンを立ち上げ直すと、無線 LAN は無効になります。

★ パソコンを立ち上げたとき、無線 LAN デバイスを有効にするときは、BIOS メニューの [Onboard Device Configuration] の [Default Wireless Device] を [Wireless LAN] に設定してください。

無線 LAN の設定

1 [コントロールパネル] の [Wireless Network] をクリックする。

▼ [設定プロファイルの追加 / 編集] 画面が表示される。

2 [編集] ボタンをクリックする。

▼ [設定の編集] 画面が表示される。

3 「プロファイル名」欄に適当な名前をつけて、[次へ] ボタンをクリックする。

4 「ネットワーク名」に接続するアクセスポイントのネットワーク名 (ESS-ID) を設定して、[次へ] ボタンをクリックする。

5 「データセキュリティを使用する」にチェックをつけ、下の「キー」に接続するアクセスポイントの WEP キーを入力して、[次へ] ボタンをクリックする。

6 [次へ] ボタンをクリックし、次の画面で [完了] ボタンをクリックする。

7 [設定プロファイルの追加 / 編集] に戻るので、[OK] ボタンをクリックし終了する。

重要

◎ 無線LANカードを装着したパソコンとの Peer-to-Peer 通信はできません。

◎ 無線 LAN を使用するときは、必ず WEP キーを使って暗号化を行ってください。

◎ WEP128bit 対応モデルの場合、128bit (ASCII 文字 13 文字) を使用した通信が可能です。その場合、必ずアクセスポイントの WEP 設定を 128bit にしてください。

◎ 弊社PC-CN3300アクセスポイントを使用して通信する場合、アクセスポイント側で設定した WEP キー欄と、本内蔵無線 LAN で入力するキー欄を合わせる必要があります。
(例) アクセスポイント側で「キー 2」選択時は、本内蔵無線 LAN でも「キー 2」欄に同じ WEP キーを入力してください。

◎ 内蔵無線LANで使用できるチャネルは 1 〜 11 チャネルまでです。アクセスポイントの設定をこの範囲のチャネルに設定してください。

◎ [設定プロファイルの追加 / 編集] 画面は [スタート] ボタン -[プログラム]-[ORiNOCO]-[Wireless Network Setting] からも開くことができますが、[スタート] メニューから開いても、設定を変更することができません。エラーが表示されます。手順の通り、[コントロールパネル] から開くようにしてください。

ヒント

★ NetworkName とは、PC-CN3300 アクセスポイントの ESS-ID に相当します。

★ ESS-ID は 31 文字までのサポートとなります。PC-CN3300 では 32 文字まで設定できますが、31 文字以内で設定してください。

FLORA AP インストール支援ツール

Windows 入れ替え時に、アプリケーションのインストールを簡単にするツールです。システム内のほかのパソコンで共通に使用しているアプリケーションを簡単にインストールできます。標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。FLORA AP インストール支援ツールを使用するには、別売のソフト JP1/NETM/DM Client(形名：P-2642-1314 05-21 以降または、形名：P-2642-1364、バージョン：06-00 以降) が必要です。

■FLORA AP インストール支援ツールの使い方について

・ 使用する前に、ツールに添付されている ReadMe をお読みください。

参照

概要およびインストール手順について→ドライブ C の
C:\Hitachi\APINST\APINST.htm

・パソコン出荷時、または Windows の再セットアップをしたあとにご使用ください。すでにアプリケーションをインストールしているパソコンには、このツールでアプリケーションのインストールはできません。

Intel® LANDesk® Client Manager

パソコンの管理機能を向上させるためのソフトウェアです。ハードウェアの各種設定情報や、動作状態を管理、監視します。ハードウェアに障害が発生したときは、画面にメッセージを表示するなど障害発生を報告します。

インターネットマーク

インターネットエクスプローラへのプラグインソフトです。閲覧中の Web コンテンツの真正性が確認できます。

Norton Ghost 2002

パソコンのハードディスクの内容をその他のディスクにバックアップしたり、バックアップした内容を復元するユーティリティーです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。

参照

Norton Ghost 2002 の詳しい使い方については、『活用百科』CD の \programs\ghost\Readme.txt や、\programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf をご参照ください。

Easy CD Creator

CD-R/RW ドライブで、CD-R や CD-RW に書き込みするためのユーティリティーです。パソコンのデータを CD-R/RW にバックアップする目的などに使用します。
使用方法は、プログラムのヘルプをご参照ください。

Office XP

購入時の選択によってセットアップされるアプリケーションセットです。
使い方や再セットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。

お客様がパソコンにメモリーやボードの増設などのハードウェア環境に変更を加えた場合、その後の Microsoft Office XP のアプリケーションソフトウェア（Word、Excel、Outlook など）の初回起動時、「Microsoft Office XP ライセンス認証ウィザード」が表示されることがあります。この状態では各アプリケーションの機能が制限されます。ウィザードのメッセージに従い、Office XP のパッケージに付属の「Microsoft Office XP」CD-ROM を CD-ROM ドライブなどに挿入して、メッセージに従い操作してください。
Administrator 権限および、新規ユーザーアカウントの初回ログオン時に、IME 2002 と IME 2000 の両方が表示される場合があります。ログオンし直してください。IME 2002 のみ表示されます。

重要

◎ 添付の Microsoft Office XP（以下 Office）の CD で Office をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成、更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office の『セットアップガイド』をご参照ください。

ヒント

★ Bookshelf Basic,Step by Step Interactive はセットアップされていません。
必要に応じて Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic CD-ROM、Step by Step Interactive CD-ROM でセットアップしてください。

一太郎

購入時の選択によって付属されるアプリケーションセットです。
使い方やセットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。

ATOK

購入時の選択によって付属される日本語入力システムです。
使い方やセットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。

Intel® Chipset Software Installation Utility

デバイスマネージャにおける Intel チップセットコンポーネントの認識に必要なユーティリティーです。

Acrobat Reader

本書のような電子マニュアルなど PDF 形式のファイルを参照するためのアプリケーションです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

CyberSupport for HITACHI

パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルから探し出す、検索ソフトウェアです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

ソフトウェアの重要事項

ここでは、ソフトウェアを使用するときの重要な項目について説明します。

Windows の使用について

サウンドの使用について

・マルチメディアファイル再生中は、ファイルを転送など、ハードディスクに読み書きしないででください。音が途切れたり、再生中のファイルが止まったりします。1 度すべてのファイルを停止してから再生し直してください。また、シークバーが正しく表示されない場合があります。この場合は、マルチメディアファイルを一度終了させてください。
・音を鳴らした状態で音源のボリューム操作を繰り返したり、[ボリュームコントロール] を長時間表示したままにしないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。
・Waveファイル再生中に音声が停止したり､異常な音が鳴り続ける場合は､いったん再生を停止し、そのあと再生し直してください。

インターネット エクスプローラの使用について

・使用するアプリケーションによっては、画面が正常に表示されないことがあります。このときは、いったんアプリケーションを最小化するなどして画面を再描画させてください。
・使用するアプリケーションによっては、アプリケーションエラーが起きることがあります。このときは、いったんアプリケーションを起動し直すか、パソコンを立ち上げ直してください。
・CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM　内の文字列は正しく検索できません。検索するファイルを、いったん HDD にコピーしてから、コピーしたファイルを検索してください。
・デスクトップのアイコン表示：表示モードを変更した場合やコマンドプロンプトをフルスクリーンで表示したあと、デスクトップのアイコンが正しく表示されないことがあります。この場合は、パソコンを立ち上げ直してください。
・NTFS の圧縮 ： 圧縮や圧縮の無効など、圧縮状態を変更するときは、各サブフォルダーごとに行ってください。HDD 全体に対して変更すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。ただし、HDD をフォーマットするときは、あらかじめ [圧縮を有効にする] にチェックを付けて圧縮できます。

・[タスクバーのプロパティ] ダイアログの [[スタート] メニューの設定] タブの [削除] をクリックしないでください。Explorer.exe で一般保護違反(GPF) が発生する場合があります。[スタート] メニューのフォルダーを削除する場合は、[[スタート] メニューの設定] タブの [詳細] をクリックし、立ち上げられるエクスプローラ上で削除してください。

フォント

・全角が表示できるフォントを使用しているときに、スタイルをイタリックにすると、サイズによっては文字化けすることがあります。ほかのスタイルでは発生しません。

アプリケーション

・Windows 3.1 や MS-DOS 5.0/V、MS-DOS 6.2/V のアプリケーションを使用しないでください。マウスが正常に動作しなかったり表示色がおかしくなることがあります。
・アプリケーションを複数動作させる場合は、不要なファイルを HDD から削除するなどして、空容量を十分に確保してください。アプリケーションによっては、スワップファイルを多く表示させるものもあり、HDD の空容量が不足していると、アプリケーションが正常に動作しないことがあります。
・アプリケーションによっては、ヘルプ画面を開こうとすると、エラーメッセージを表示する場合があります。
・Microsoft PowerPoint など、アプリケーションによっては、アイコンの表示が部分的に残る場合があります。
・Microsoft PowerPoint など、アプリケーションによっては、印刷時に文字化けする場合があります。
・Microsoft Excel を使用して、最小印刷の設定を行った状態で「印刷プレビュー」を行うと、STOP メッセージが表示されてパソコンが動作しなくなることがあります。「印刷プレビュー」を行う場合には、データの保存を必ず行ってください。
・Microsoft Office の一部の機能は正常に動作しません。

プリンター

・LIPS IIIモードで「コマンドプロント」からテキストファイルを印刷すると、全角文字が正常に印刷されません。リモート印刷時も同様です。
・ESC/Pモードで「コマンドプロント」からテキストファイルを印刷する場合は、プリンターの設定を、次の手順で変更してください。リモート印刷時も同様です。
ただし、設定しても印刷の文字がかすれて見づらい場合があります。
1. [スタート] ボタン－ [設定] － [プリンタ] をクリックする。
2. 対象のプリンターを選んでプロパティーを開く。
3. [全般] タブの「プリントプロセッサ」を選ぶ。
4. [プリントプロセッサ] の次の項目を変更する。

変更項目	デフォルトの設定	変更後の設定
規定のデータの種類	RAW	TEXT

・Microsoft Word で文章を印刷すると、「Win32 スプーラ」で「書き込みエラー：要求された資源は使用中です」と表示されることがあります。そのときは、「再試行」をクリックすると印刷できます。

クリップブック

・ローカルクリップブックのページを削除すると、クリップボードの内容が削除される場合があります。
・クリップボードの内容をファイルに保存すると、クリップボードの表示色が変化する場合があります。
・クリップボードの内容をクリップブックのページにはり付けたとき、ロックされていないのに鍵のマークが出る場合があります。

画面表示

・タスクの切り替えなどで画面の表示を切り替えると、切り替えるタイミングによって前の表示が残る場合があります。この場合、その箇所を再描画させると、正常に表示されます。
・使用状況によっては、メッセージボックスが、ほかのウインドウの裏面に隠れて見えないことがあります。
・表示色などを変更するときは、アプリケーションを終了してください。アプリケーションの表示がおかしくなることがあります。この場合、画面を切り替えるなどして再描画すると正常に表示されます。
・ディスプレイによっては、正しく表示できないリフレッシュレートがあります。リフレッシュレートを変更する場合は、テスト表示を行い、正しく表示できることをご確認ください。
・メディアプレーヤーなどで動画再生時、動画によっては再生画面が正しく表示されないことがあります。このときは、メディアプレーヤーの［ファイル］-［プロパティ］-［詳細設定］タブで、[Video Renderer］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックしてください。[DirectDraw］タブの［YUV 反転］、[RGB 反転］、[YUV オーバーレイ］、[RGB オーバーレイ］のチェックを外します。［パフォーマンス］タブの［フルスクリーン再生では、表示モードの変更はできません］のチェックを付けます。立ち上げ直すと、正常に再生できることがあります。
・［画面のプロパティ］を表示する際、一瞬ノイズが発生することがありますが、続けてご使用ください。
・OpenGL を使用するスクリーンセーバー起動中は、モニター OFF がタイマー設定されている場合でも、モニター OFF に移行しません。
・アプリケーションによっては、起動直後にスクロールを行うと、図形などが正常に表示されない場合があります。その場合には、再描画させてください。

外字変換

・Windows 3.1、またはWindows NT 4.0より以前のシステムで作成した外字データを、TrueType 外字エディターで参照するとフォントが崩れて表示される場合があります。TrueType 外字エディターで修正し、使用してください。

シリアル

・シリアルポートを利用したデータ交換に「ハイパーターミナル」アプリケーションを利用すると、相手側の送受信が正常に行えない場合があります。この場合、データ送受信コマンドのオプション設定や転送ボーレートを変更してください。
・「ハイパーターミナル」アプリケーションで相互通信を行う場合、双方から同時にテキストファイルの送信を行わないでください。

ネットワーク関連

・TELNET: バッファーサイズを変更すると、表示が崩れる場合があります。
・DHCP Client では、次の場合、正常に表示されない場合があります。
　(1)DHCP Manager でアドレスのリース期間を無制限にした場合、IPCONFIG による IP アドレス情報が正しく表示されません。
　(2)予約クライアントのリース期限情報がサーバー側とクライアント側で異なります。
・NetWare Compatible Client Service:NET USEで接続したNetWareプリンターに対して、VDMよりリダイレクト(>LPT1)すると文字化けすることがあります。
・Windows NT Server 4.0 で TCP/IP プロトコルを使用した場合、TCP/IP の ip fragment ビットが ON になっています。そのとき ip ルーターで WAN 回線上の最大パケットサイズをイーサネットの最大パケットサイズよりも小さく設定すると、Windows NT の TCP/IP パケットが ip ルーターで廃棄されます。
・RAS サーバーとなる装置のドメイン名、またはワークグループ名が漢字など DBCS の場合、接続できません。
・ネットワークモニターは補助的なもので、ローカルのパソコンの送受信データのみをキャプチャーできます。本格的なネットワーク解析に使用すると、キャプチャーデータの表示中にアプリケーションエラーとなる場合があります。
・NetWare for Hitachi/W および NetWare for Hitachi3050 には接続できません。
・NWLink IPX/SPX サービスの追加時、1 回の再立ち上げで NetWare サーバーに接続できない場合があります。その場合、もう一度立ち上げ直してください。
・NET USER コマンドの「 /Homedirreq 」オプションは使用できません。
・ネットワークドライブをログオン時に再接続する設定にしておいても再接続されない場合があります。この場合は再度ログオンし直してください。

イベントビューア

・Windows 立ち上げ時にイベントが発生した場合、発生時間に関わらず、イベントログサービスの「立ち上げイベント情報」が表示される前に、そのイベントが表示されることがあります。

Microsoft IME

・Microsoft IME では、実際の入力モードとツールバーで表示される入力モードが異なる場合があります。

エクスプローラ

・ネットワークコンピューターのフォルダーを表示させた場合、中にフォルダーがなくてもサブフォルダーがあることを示す「+」が表示されることがあります。

ディスクの管理

・パーティションの作成を行ったとき、「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合、パーティションは作成されていますが、フォーマットが完了しない場合があります。この場合、作成されたパーティションを再度フォーマットしてください。

コンピュータの管理

・[コンピュータの管理] を終了するとき、アプリケーションエラーが発生することがあります。動作に問題はありません。そのままご使用ください。
・[コンピュータの管理] で、[記憶域]-[リムーバブル記憶域]-[物理的な場所] の下に、赤い×印が付いたデバイスが表示されることがあります。現在使用中のデバイスでなければ、動作に問題ありません。そのままご使用ください。

リムーバブルディスクを使用する場合

・リムーバブルディスクを NTFS にフォーマットした場合、リムーバブルドライブのイジェクトボタンを押してもディスクを取り出すことができません。Windows が動いている間に取り出すときは、[マイコンピュータ] や [エクスプローラ] を使用します。デバイスにマウスカーソルを置いて、マウスの右ボタンをクリックし、メニューの [取り出し] をクリックします。ただし、この操作は、Administrators グループに登録されていないメンバーは行えません。

その他

・ログオンした直後に、シャットダウン、再立ち上げ、ログオフを行わないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。

動画の再生について

・動画ファイルを再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行ってください。

4 章

追加セットアップ

この章では、ドライバーやアプリケーションを、個別にセットアップする方法を説明します。

購入時にセットアップされていないアプリケーションなどは、この章でセットアップします。

ドライバー、アプリケーションの追加について

ドライバーやアプリケーションの追加を行うと、「Windows 2000 Professional CD-ROM」を要求されることがあります。
このようなときは、次の操作を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ファイルのコピー] 画面が表示される。

2 [ファイルのコピー元] に、C:\hitachi\i386 と入力する。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ ドライバーまたは Windows のプログラムインストールが続行される。

重要

◎ メッセージが表示されず、直接 [ファイルのコピー] が表示されることがあります。

ヒント

★ 標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、HDD の次になります。あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。

★ ドライバーのインストール中に「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されることがあります。[はい] ボタンをクリックしてそのままインストールを続けてください。

ドライバーを個別セットアップする

ここでは、次のドライバーを個別にセットアップする方法について説明します。

ドライバー名	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：セットアップ済み ×：セットアップなし
表示ドライバー	○	○
3 モード FD ドライバー	×	×
サウンドドライバー	○	○
LAN ドライバー	○	○
モデムドライバー	○	○
タッチパッドドライバー	○	○
無線 LAN ドライバー	○	○
DMA 設定	○	○
スマートカードリーダードライバー	○	○

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に○印があるドライバーは、一括インストールでもセットアップできます。

重要

◎ 個別セットアップを行うと、一括セットアップで組み込まれた場合と設定値が異なることがあります。

◎ 標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、アルファベットの順で HDD の次の文字(ドライブ文字)になります。あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。

表示ドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れる。

3 [スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックし、d:\drivers\svga\graphics\setupと入力して[OK]ボタンをクリックする。

▼[セットアップ画面] が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼[使用許諾契約書] 画面が表示される。

5 **[はい] ボタンをクリックする。**

▼ドライバのインストールが開始される。

6 **[ウィザードの完了] 画面が表示されたら、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して、[完了] ボタンをクリックする。**

▼パソコンが立ち上げ直される。

3 モード FD ドライバー

1 **パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れる。**

3 **デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンを右クリックして、メニューから [管理] をクリックする。**

▼[コンピュータの管理] 画面が表示される。

4 **画面左側にある [ツリー] で [デバイスマネージャ] をクリックする。**

▼画面右側に [デバイスマネージャ] 画面が表示される。

5 **[フロッピーディスクコントローラ] の [標準フロッピーディスクコントローラ] をダブルクリックする。**

▼[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ] 画面が表示される。

6 **[ドライバ] タブをクリックして、[ドライバの更新] ボタンをクリックする。**

▼[デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

7 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼[ハードウェアデバイスドライバのインストール] 画面が表示される。

8 「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] 画面が表示される。

9 「場所を指定」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [製造元のファイルのコピー元] 画面が表示される。

10 「製造元のファイルのコピー元」に d:\drivers\3mode と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

11 「別のドライバを１つインストールする」をチェックして [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [検出されたドライバファイル] 画面が表示される。

12 [Hitachi 3mode Floppy Disk Controller (TypeH)] を選択して [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバアップグレートウィザードの完了] 画面が表示される。

13 [完了] ボタンをクリックする。

▼ [Hitachi 3mode Floppy Disk Controller (TypeH) のプロパティ] 画面が表示される。

14 [閉じる] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスマネージャ] 画面が表示される。

15 [フロッピーディスクドライブ] の [フロッピーディスクドライブ] をダブルクリックする。

▼ [フロッピーディスクドライブのプロパティ] 画面が表示される。

16 [ドライバ] タブをクリックして、[ドライバの更新] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

17 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] 画面が表示される。

18「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックして [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] 画面が表示される。

19「場所を指定」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼「製造元のファイルのコピー元」が表示される。

20「製造元のファイルのコピー元」に d:\drivers\3mode と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

21「別のドライバを１つインストールする」をチェックして [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [検出されたドライバファイル] 画面が表示される。

22 [Hitachi 3mode Floppy Disk Drive] を選択して [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバアップグレードウィザードの完了] 画面が表示される。

23 [完了] ボタンをクリックする。

▼ [Hitachi 3mode Floppy Disk Drive のプロパティ] 画面が表示される。

24 [閉じる] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスマネージャ] の [フロッピーディスクコントローラ] に [Hitachi 3mode Floppy Disk Controller (TypeH)]、[フロッピーディスクドライブ] に [Hitachi 3mode Floppy Disk Drive] が表示される。

25 パソコンを立ち上げ直す。

サウンドドライバー

1 **パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\sound\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

▼ [Avance AC'97 Audio Setup (4.58)] 画面が表示される。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ コピーが終了すると [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示される。

5 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選ばれていることを確認して [完了] ボタンをクリックする。**

▼ パソコンが立ち上げ直される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

LAN ドライバー

1 **パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] の [イーサネットコントローラ] をダブルクリックする。**

▼ [イーサネット　コントローラのプロパティ] が表示される。

3 **[ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。**

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] が表示される。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] が表示される。

5 **[デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ドライバファイルの特定] が表示される。

6 **「場所を指定」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザード] が表示される。

7 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\lan と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

8 **「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ ファイルがインストールされ、[このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。] と表示される。

9 **[完了] ボタンをクリックする。**

10 **[Intel(R) PRO/100 VE Network Connection のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。**

ヒント

★ LAN の回線速度及び全二重 / 半二重設定は、標準で「Auto Detect 」に設定されています。HUB との接続が正常にできない場合は、HUB と同じ条件に固定するよう設定してください。[コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] を開き、[ローカルエリア接続] を右クリックし [プロパティ] を選択する。開いた [プロパティ] の [構成] ボタンをクリックし、[詳細設定] タブの [Link Speed &Duplex] の値で変更できます。

★ デバイスマネージャは以下の方法で開きます。
[マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択する。開いた [システムのプロパティ] 画面の [ハードウェア] タブを選択して [デバイスマネージャ] ボタンをダブルクリックする。

★ 既に一度 LAN ドライバを追加している場合は、[ネットワークアダプタ]-[Intel(R) PRO/100 VE Network Connection] をダブルクリックしてください。[Intel(R) PRO/100 VE Network Connection のプロパティ] が表示されるので、手順 3 以下の操作をしてください。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

モデムドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] が表示される。

3 CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\modem\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Modem] 画面が表示される。

ヒント
★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

4 [OK] ボタンをクリックする。

▼ ファイルがコピーされ、終了するとウィンドウが閉じられる。

タッチパッドドライバー

1 パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 CD-ROM ドライブなどに『 Product Recovery CD-ROM Disc2 』を入れ、d:\drivers\touchpad\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [設定言語の選択] 画面が表示される。

ヒント
★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

4 [日本語] を選択し [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

5 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [重要] 画面が表示される。

6 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ファイルコピーの開始] 画面が表示される。

7 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ インストールが開始される。

8 インストール終了後、[セットアップ完了] 画面が表示されるので、[はい、直ちにコンピュータを再起動します] にチェックをして、[完了] ボタンをクリックする。

無線 LAN ドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] の [Lucent Technologies WaveLAN/IEEE] をダブルクリックする。

▼ [Lucent technologies WaveLAN/IEEE のプロパティ] が表示される。

3 [ドライバ] タブの [ドライバ更新] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] が表示される。

5 [デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] が表示される。

6 「場所を指定」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザード] が表示される。

重 要

◎ 一度、デバイスマネージャ上で無線ドライバを削除した場合、デバイスの検出、もしくはシステムの再起動をする前に、必ず無線 LAN Client Manager をインストールしておくようにしてください。

ヒント

★ デバイスマネージャは以下の方法で開きます。
[マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択する。開いた [システムのプロパティ] 画面の [ハードウェア] タブを選択して、[デバイスマネージャ] ボタンをダブルクリックする。

7 CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\wlan と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼[ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

8 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ファイルがインストールされ、[Add/Edit Configuration Profile] 画面が表示される。

9 [OK] ボタンをクリックする。

▼[Add/Edit Configuration Profile] 画面が閉じられ、[デバイスドライバのアップグレードウィザード] 画面で「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」と表示される。

10 [完了] ボタンをクリックする。

11 [ORiNOCO Mini PCI Card のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。

DMA 設定

IDE デバイス装置に対し、転送モード (DMA または PIO) を指定します。
DMA モードを選択すると、データの読み書きを速くします。
パソコン出荷時は、DMA モードに設定しています。
DMA モードにする場合は、次の手順で行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート]ボタン−[設定]−[コントロールパネル]をクリックする。

3 [システム] をクリックし、[ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。

▼[デバイスマネージャ] が表示される。

4 [IDE ATA/ATAPI コントローラ] をダブルクリックする。

▼[プライマリ IDE チャネル]、[セカンダリ IDE チャネル] が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

ヒント

★ 無線 LAN の設定については、「無線 LAN Client Manager について」の [Add/Edit Configuration Profile] 画面の設定をご覧ください。

5 **DMA 検出を有効にするチャネルをダブルクリックする。**

▼ [***IDE チャネルのプロパティ] が表示される。

*** は、プライマリまたはセカンダリと表示。

6 **[詳細設定] タブをクリックし、[転送モード] を [DMA(利用可能な場合)] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。**

PIO モードにする場合は、[転送モード] を [PIO のみ] に設定する。

スマートカードリーダードライバー

1 **管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **PC カードスロットにスマートカードリーダーを挿す。**

▼ O2Micro SmartCardBus_Reader が検出され、[新しいハードウェアの検索ウィザードの開始] が表示される。

3 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] が表示される。

4 **[デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ドライバファイルの特定] が表示される。

5 **「場所を指定」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示される。

6 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、[製造元のファイルのコピー元] に d:\drivers\smcread\win2k と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

7 **「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ファイルがインストールされ、[このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。] と表示される。

8 **[完了] ボタンをクリックする。**

アプリケーションを個別セットアップする

ここでは、次のアプリケーションなどを個別にセットアップする方法について説明します。

アプリケーション名	一括セットアップ ○：可能×：不可	購入時 ○：セットアップ済み ×：セットアップ無し
インターネットエクスプローラ	○	○
FLORA AP インストール支援ツール	×	×
Launch Manager	○	○
無線 LAN Client Manager	×	×
VirusScan	×	×
Intel(R) SpeedStep™ Technology Applet	○	○
Intel LANDesk Client Manager	×	×
Intel(R) Chipset Software Installation Utility	○	○
インターネットマーク	○	○
Norton Ghost 2002	×	×
Easy CD Creator *	×	×
一太郎 *	×	×
ATOK *	×	×
Acrobat Reader	○	○
CyberSupport for Hitachi	×	×

＊ 購入時の選択によって、セットアップまたは付属しています。これらのセットアップ方法は、アプリケーションに付属のマニュアルをご参照ください。

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に○印があるアプリケーションは、一括インストールでもセットアップできます。

★ 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。

重要

◎ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

◎ 標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、アルファベットの順で HDD の次の文字 (ドライブ文字) になります。
あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。

インターネットエクスプローラ

インターネットエクスプローラはバージョン 5.5(以下、IE5.5) です。インストールを個別に行う場合は、次の手順で行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 CD-ROMドライブなどに『Microsoft Internet Explorer 5.5』を入れる。

3 インストーラーが自動的に表示されない場合は、[スタート]ボタン－[ファイル名を指定して実行]をクリックし、d:\i386\setup.exeと入力して[OK]ボタンを押す。

4 [Internet Explorer 5.5とインターネットツールのインストール]をクリックする。

▼[使用許諾契約]画面が表示される。

5 使用許諾の内容を読み、「同意する」を選んで、[次へ]ボタンをクリックする。

▼[Windows 2000 インストール]画面が表示される。

6 [次へ]ボタンをクリックする。

▼インストールが開始され、ファイルのコピー終了後、[コンピュータの再起動]画面が表示される。

7 [完了]ボタンをクリックして、パソコンを立ち上げ直す。

ヒント
★ dはCD-ROMドライブなどのCD-ROM対応ドライブ名です。

重要
◎ インストール中にディスプレイの解像度や表示色を変更しないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。

FLORA APインストール支援ツール

セットアップ方法は、ドライブCのC:\Hitachi\APINST\APINST.htmをご参照ください。

Launch Manager

ほかのキーボードドライバーがインストールされている場合は、あらかじめアンインストールしてください。

1 [スタート]ボタン－[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

▼[ファイル名を指定して実行]が表示される。

2 CD-ROMドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\launch\setupと入力して[OK]ボタンをクリックする。

3 [Welcome]画面が表示されるので、[Next]ボタンをクリックする。

ヒント
★ dはCD-ROMドライブなどのCD-ROM対応ドライブ名です。

4 **インストール先フォルダが [c:\...\Hitachi\Launch Manager] になっていることを確認して、[Next] ボタンをクリックする。**

▼ファイルがコピーされ、終了すると [Restarting Windows] 画面が表示される。

5 **「Yes,I want to restart my computer now.」が選ばれていることを確認して、[OK] ボタンをクリックする。**

▼Windows が立ち上げ直される。

無線 LAN Client Manager

1 **パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[スタート] ボタンー [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行] が表示される。

3 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\drivers\clmgr\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

▼[ORiNOCO Client Manager 用の InstallShield ウィザードへようこそ] 画面が表示される。

ヒント
★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼[使用許諾契約] 画面が表示される。

5 **[はい] ボタンをクリックする。**

▼[インストール先の選択] 画面が表示される。

6 **インストール先が c:\Program Files\ORiNOCO\Client Manager であることを確認して [次へ] ボタンをクリックする。**

▼[プログラムフォルダの選択] 画面が表示される。

7 **フォルダ名が「ORiNOCO」であることを確認して [次へ] ボタンをクリックする。**

▼[Select the Client Manager you want to install] 画面が表示される。

8 [Client Manager Japanese] にチェックをつけて [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [InstallShield ウィザードの完了] が表示される。

9 Windows を立ち上げ直す。

VirusScan

1 パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタンー [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\vscan\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [製品情報] 画面が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ソフトウェアの使用権許諾契約書] 画面が表示される。

5 [ライセンス契約に同意します。] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [インストールの種類セキュリティレベルを設定してください] 画面が表示される。

6 [標準のセキュリティレベル] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [インストールの種類] 画面が表示される。

7 [標準インストール] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [プログラムのインストール準備完了] 画面が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

8 [インストール] ボタンをクリックする。

▼ [インストール中] 画面が表示されたあと、[McAfee VirusScan] 画面が表示される。

9 「インストール後にデフォルトのウイルス検査の実行」のチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ オンデマンドスキャンが実行され、[ウイルス定義ファイルのアップデート] 画面が表示される。

10 [後でアップデート] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [McAfee VirusScan インストールウィザードは正常に完了しました。] 画面が表示される。

11 [完了] ボタンをクリックする。

▼ VirusScan のインストールが終了し、VirusScan v4.5.1 Service Pack のインストールを開始する。

12 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

13 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\vscan\vsc451s1\vsc451s1.exe と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [VirusScan v4.5.1 Service Pack インストーラへようこそ] 画面が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

14 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [インストールディレクトリに必要なファイルコピーが完了するまでしばらくお待ちください ...] 画面が表示され、[Service Pack インストーラ通知] 画面が表示される。

15 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Service Pack インストーラは VirusScan v4.5.1 に必要なファイルのコピーが完了しました。] 画面が表示される。

16 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] をクリックして、[完了] ボタンをクリックする。

▼インストールが終了する。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet

重要

◎ CPUがPentium IIIのパソコンでのみ動作します。それ以外のパソコンでは使用できません。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼[ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 CD-ROMドライブなどに『Product Recovery CD-ROM Disc2』を入れ、d:\Drivers\spstep\disk1\setup と入力し [OK] ボタンをクリックする。

▼[ようこそ] 画面が表示される。

ヒント

★ dはCD-ROMドライブなどのCD-ROM対応ドライブ名です。

4 [次へ] ボタンをクリックし、[製品のライセンス契約] で [はい] ボタンをクリックする。

▼[セットアップの完了] 画面が表示される。

5 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が選択されていることを確認して、[完了] ボタンをクリックする。

▼パソコンが立ち上げ直される。

Intel LANDesk Client Manager

セットアップ方法は、『活用百科』CDの\programs\ldcm\readme.htmをご参照ください。

Intel® Chipset Software Installation Utility

1 **パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **CD-ROM ドライブなどに『Product Recoverry CD-ROM Disc2』を入れる。**

3 **[スタート] ボタンー [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

4 **名前に d:\drivers\inf\setup.exe と入力して、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [Intel(R) Chipset Software Installation Utility V3.20.1004] のセットアップ画面が表示される。

ヒント
★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

5 **画面の指示にしたがってセットアップする。**

6 **[コンピュータを今すぐ再起動する] がチェックされていることを確認し、[完了] ボタンをクリックする。**

▼ パソコンが立ち上げ直される。

インターネットマーク

1 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。**

2 **[スタート] ボタンー [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **d:\programs\internetmarks\2k9x\npime008.exe と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

ヒント
★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

4 **画面の指示に従ってインストールする。**

Norton Ghost 2002

1 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 d:\programs\ghost\install\setup.exe と入力し [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Norton Ghost 2002 用の Install Shield ウィザードへようこそ] が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [使用許諾契約] が表示される。

5 画面の指示に従ってインストールする。

▼ インストール終了後、[Norton Ghost 2002 の登録をお願いいたします] と表示されるので、[スキップ] ボタンをクリックして、登録処理をスキップする。

重要

◎ Norton Ghost 2002の機能については、『活用百科』CD の \programs\ghost\Readme.txt や、\programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf をご参照ください。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

Acrobat Reader

1 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 d:\install\ar505jpn と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [Adobe Acrobat 5.0.5 セットアップ] 画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールする。

▼ 終了すると [情報] 画面が表示される。

5 [OK] ボタンをクリックする。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

CyberSupport for HITACHI

1 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。**

2 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **d:\install\cybersupport\setup.exe と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

4 **「 CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか ?」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする。**

▼ CyberSupport がインストールされ、データベースが作成される。

5 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して [完了] ボタンをクリックする。**

▼ パソコンが立ち上げ直される。

重 要

◎ 電子マニュアルをインストールしていないと、電子マニュアルを検索できません。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

Windowsファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。
必要に応じてセットアップしてください。

1 [スタート]ボタン－[設定]－[コントロール パネル]をクリックする。

2 [コントロール パネル] の [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックし、プロパティーを開く。

3 [Windows コンポーネントの追加と削除] タブの [コンポーネント] で、必要なソフトウェアにチェックを付ける。

4 1 つの項目に複数のソフトウェアが含まれている場合があります。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックを消して [OK] ボタンをクリックする。

5 [次へ] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する。

5 章

パソコン Q&A

この章では、パソコンのトラブルと、その対処方法を紹介しています。

トラブルが起こったら、まずここをお読みください。

ディスプレイの表示がおかしい

Q

表示色がおかしい、色数が少ない

A

・プリンター、パソコンの順に電源を入れると、ディスプレイの表示色がおかしくなることがあります。そのときは両方の電源を切り、パソコン、プリンターの順に電源を入れ直します。
・画面の表示色を正しく設定します。[コントロール パネル] の [画面] アイコンをダブルクリックしてプロパティーを開き、[設定] タブで、画面の表示色を調整します。ディスプレイを接続し、電源を入れたあと、画面の領域、色を設定し直してください。

参照
設定の方法について→ 1 章の「ディスプレイの表示を変える」(P.10)

Q

表示がちらついたり色がずれたりする

A

・テレビなど、近くに強い磁気を発生するものがあります。ディスプレイから離してご使用ください。
・ケーブルを正しく接続し直します。
・明るさなどを正しく設定します。

Q

ディスプレイが熱くなる

A

ディスプレイの周囲に置いてある物を取り除きます。ディスプレイの放熱を妨げる物は、周囲に置かないようにしてください。

Q

おかしな文字が表示される

A

・Windows やアプリケーションを正しくインストールします。各ソフトに付属のマニュアルやヘルプを参照して、設定や制限事項などを確認します。
・文字が英文フォントに設定されている場合、おかしな文字を選択し、日本語のフォントに変更します。
・[コマンドプロンプト] 画面の場合、表示が日本語モード、英語モードのどちらに設定されているか確認します。

Q

タスクバーが表示されない

A

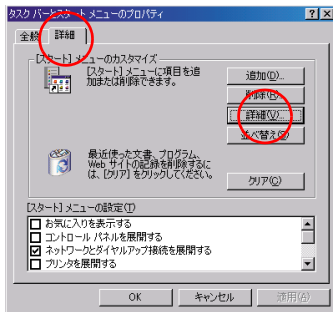
・画面の端に隠れるほど、タスクバーの幅を細くしています。画面の下端などにマウスを動かし、マウスポインターが矢印に変わったら、そのままドラッグしてタスクバーの幅を広げます。
・タスクバーの設定を変えています。[スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと
[スタート] メニュー] をクリックしてプロパティーを開き、[全般] タブの [自動的に隠す] のチェックを消してください。

Q

アプリケーションが [スタート] メニューにない

A

アプリケーションを [スタート] メニューに登録します。

1 エクスプローラで、アプリケーションのプログラムファイルを右クリックし、[ショートカットの作成] を選択する。
2 作成されたショートカットを右クリックし、[切り取り] を選択する。
3 [スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと [スタート] メニュー] を選択する。
4 [詳細] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。

5 [プログラム] を選択し、[編集] － [貼り付け] を選択する。

Q

[スタート] メニューがいっぱいになって、選択しにくい

A

[スタート] メニューを整理します。

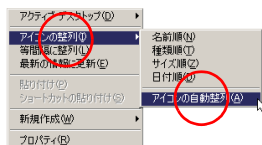
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] を選択し、移動するメニューをポイントし、メニューを移動する位置までドラッグ & ドロップする。

Q

デスクトップがアイコンで乱雑になった

A

・ アイコンを自動整列します。

1 デスクトップでアイコンのないところを右クリックし、[アイコンの整列] － [アイコンの自動整列] を選択する。

・ アプリケーションのショートカットをタスクバーから立ち上げられるようにします。

1 タスクバーの [クイック起動] ツールバーの右をポイントし、右にドラッグする。

2 アプリケーションのショートカットを、[クイック起動] ツールバーにドラッグ & ドロップする。ここをクリックすると、アプリケーションを立ち上げられる。

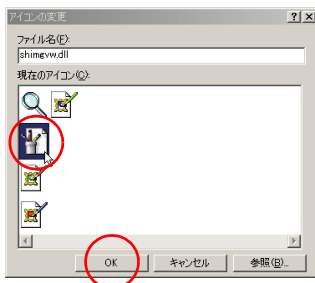
・ 不要なアイコンを削除します。
1 削除するアイコンを右クリックし、[削除] を選択し、[はい] ボタンをクリックする。

Q

アイコンの絵柄が変わってしまった

A

・ フォルダーオプションでアイコンの絵柄を変更します。
1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ツール] ー [フォルダオプション] を選択する。
2 [ファイルの種類] タブをクリックし、アイコンの絵柄を変更するファイルタイプを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする。
3 [アイコンの変更] ボタンをクリックし、アイコンを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

Q

デスクトップの背景が気に入らない

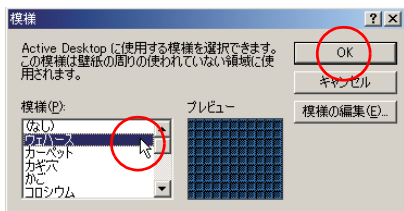
A

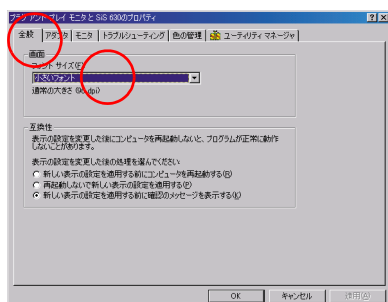
デスクトップの背景を変えます。
1 自分で描いた画像や写真などを使う場合は、bmp 形式にして、C:\ Windows にコピーしておく。
2 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。[画面のプロパティ] が表示される。
3 [背景] タブをクリックする。
4 画像ファイルを背景にするときは、[参照] ボタンをクリックし、画像ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。模様を選択するときは、[模様] ボタンをクリックし、模様を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

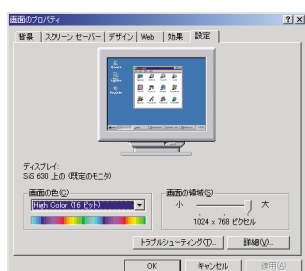
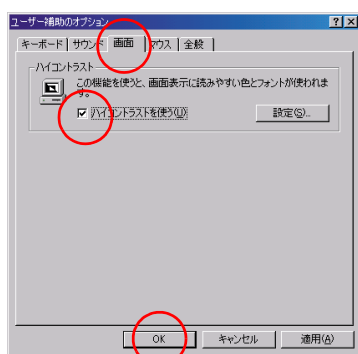
5 [OK] ボタンをクリックする。

Q

画面の文字が小さい

A

・ 画面に表示するフォントサイズを大きくします。
1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。

2 [設定] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。[全般] タブをクリックし、[フォントサイズ] で [大きいフォント] を選択する。

3 [OK] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
4 再立ち上げのメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・画面の解像度をさげます。
1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [設定]タブをクリックし、[画面の領域](画面の解像度)で「小」に変更する。

・画面のコントラストを強くします。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択し、[ユーザー補助のオプション] アイコンをダブルクリックする。
2 [画面] タブをクリックし、[ハイコントラストを使う] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする。

Q

動画の再生が終わっても、画像が残ったままになる

A

再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行います。なお、動画ファイルを再生しているときは、コマンドプロンプトを起動してから Windows 側に切り替えたり、コマンドプロンプトのウィンドウを最大化してから終了しないでください。これらの操作を行うと、パソコンの動作が異常になることがあります。

ポインティングパッドの動きがヘン

Q

ポインティングパッドが使えない

A

・PS/2 マウスが接続されていると、ポインティングパッドは使えません。ポインティングパッドを使うときは、マウスを取り外します。

・[Fn] ＋ [F12] キーを押して、ポインティングパッドを使用不可にしていませんか ? もう一度 [Fn]+[F12] キーを押すと、使用できるようになります。

Q

スクロールボタンでスクロールできない

A

・PS/2 マウスが接続されていると、ポインティングパッドは使えません。ポインティングパッドを使うときは、マウスを取り外します。

・[Fn] ＋ [F12] キーを押して、ポインティングパッドを使用不可にしていませんか ? もう一度 [Fn]+[F12] キーを押すと、使用できるようになります。

参照
タッチパッドドライバーのセットアップについて→3章の「タッチパッドドライバー」(P.39)

マウスの動きがヘン

Q

マウスがなめらかに動かない

A

マウスの内部や内部のローラーに異物が入っているか、マウスのボールが汚れています。汚れていた場合はボールを取り出し、中性洗剤を薄めた水で洗います。

参照
マウスのボールのお手入れについて→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3 章の「お手入れ」

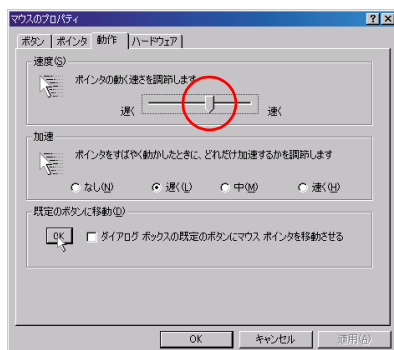
Q

マウスカーソルの動きが遅い

A

マウスカーソルの速度を速くします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。

3 [動作] タブをクリックし、[速度] でマウスカーソルの動きを速くする。

Q

マウスカーソルが小さい

A

マウスカーソルのサイズを大きくします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。
3 [ポインタ] タブをクリックする。
4 Windows スタンダード (大きいフォント) などを選択する。
5 [OK] ボタンをクリックする。

音が聞こえない、録音できない

Q

スピーカーから音が出ない

A

・スピーカーに電力を供給します。パソコンと別に電源が必要なタイプのスピーカーの場合、電源に接続しているか、スピーカーの電源が入っているかを確認します。

・スピーカーの音量が低くなっています。ボリュームコントロールで音量を調整します。

・再生しようとする音声ファイルの録音レベルが低くなっています。適切な録音レベルに調整して録音します。

・サウンドドライバーを正常に動作させます。
1 [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックする。
2 [システムのプロパティ] の [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。
3 リストの [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ] のドライバーに「！」マークが付いていないか確認する。「！」が付いていた場合は、ドライバーを再セットアップする。

参照

音量の調整について→ 1 章の「音量を調整する」(P.13)

参照

サウンドドライバーの再セットアップについて→ 3 章の「サウンドドライバー」(P.38)

Q

マイクで録音できない

A

・パソコンの入力端子とマイクのインピーダンスが合わないと音量が小さくなることがあります。

・マイクのジャックが、パソコンに正しく接続されていません。マイクコネクターにマイクのジャックが正しく接続されているか確認します。

・マイクの録音レベルが低くなっています。[マスタ音量] でマイクの録音レベルを適切に調整して録音します。

Q

音声認識アプリケーションのマイク調整が適切に設定できない

A

マイクの感度設定が不適切です。[マスタ音量] でマイクの感度を調整します。

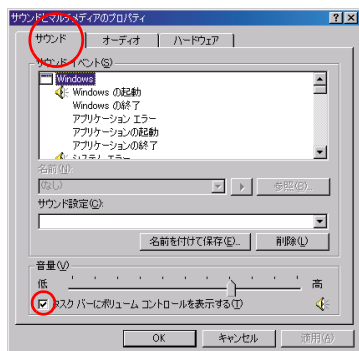
Q

タスクバーにスピーカーのアイコンが表示されない

A

スピーカーのアイコンをタスクバーに表示する設定にします。

1 [コントロール パネル] の [サウンドとマルチメディア] アイコンをダブルクリックする。
2 [サウンド] タブをクリックする。[タスクバーにボリュームコントロールを表示する] に、チェックが付いているか確認する。チェックが付いている場合は、Windows を立ち上げ直す。

Q

音声が途切れたり、繰り返したりする

A

・ディスクに読み書きしています。ディスクに読み書きしている状態で、再生時間の長い音を再生すると、音が途切れたり、繰り返したりする場合がありますが問題はありません。Windows の立ち上げ音が途切れる場合は、次の操作を行ってください。
1 [コントロールパネル] の [サウンドとマルチメディア] の [サウンド] タブで、再生時間の短い音を設定するか、サウンド名を「なし」に設定します。

参照

マイクのインピーダンスについて→マイク付属のマニュアル

参照

マイクの接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

参照

録音レベルの調整について→ 1 章の「音量を調整する」(P.13)

プリンターで印刷できない

Q
プリンターが使えない
A
・プリンターの電源を入れます。

・パソコンとプリンターの電源を切り、プリンターの電源を入れた後で、パソコンの電源を入れます。

・プリンターに異物や用紙がつまっています。プリンターの表示ランプを確認します。

・プリンターケーブルを正しく接続します。

・プリンターケーブルが絡んでいます。信号妨害のないように、ケーブルどうしはできるだけ離しておきます。

・プリンターをパソコンに接続したあと、[プリンタ] ウィンドウの [プリンタの追加] でプリンターを使用できるようにします。

・複数のプリンターを使用しています。使用するプリンターのアイコンを右クリックして、[通常使うプリンタに設定] にチェックが付いているか確認します。

参照
プリンターの接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「プリンターを接続する」

Q
正しくプリントできない
A
・正しいプリンターを選びます。アプリケーションの [ファイル] ー [印刷] ダイアログボックスなどで、正しいプリンターが選ばれているか確認します。

・プリンターをテストして、正しく印字できるか確認します。
[コントロールパネル]ー[プリンタ] ウィンドウで、目的のプリンターのプロパティーを開きます。[情報] タブの [印字テスト] ボタンをクリックし、テストしてその結果から原因を推測して対処します。

Q
途中までしか印刷しない
用紙がなくなっていないかを確認します。

CD-ROM ドライブ /DVD-ROM ドライブの異常

Q
DVD-ROM/CD-ROM を読み込めない
A
・その DVD-ROM/CD-ROM の規格を確認します。Macintosh 用の DVD-ROM/CD-ROM は読み込めません。

・このパソコンに付属の CD-ROM をセットし、読み込んでみてください。読み込めない場合は、ドライブ内部のピックアップレンズが汚れているかもしれません。クリーニングしてください。

・CD-R 、CD-RW ですか?このパソコンで作成しましたか? ほかのパソコンで作成すると、CD-R や CD-RW は読み込めないことがあります。

参照
クリーニング方法について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3 章の「お手入れ」

Q

CD-ROM/DVD-ROM ディスクをドライブに入れると「Not Ready」など準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される

A

ドライブの準備ができていないときに表示されることがあります。CD-ROM/DVD-ROM アクセスランプが消えるまでそのまま待ちます。

フロッピーディスクの異常

Q

フロッピーディスクにデータが書き込めない

A

・ディスクのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に倒します。

・ディスクの容量がいっぱいになっています。[マイ コンピュータ] の [3.5 インチ FD] のプロパティーを開き、ディスクの容量がいっぱいになっていないか確認します。

参照
書き込み禁止について→『パソコンを準備する』2 章の「ディスクを使おう」「書き込みを禁止する」

Q

フロッピーディスクからデータが読み込めない

A

・このパソコンで読み込めない種類のフロッピーディスクです。読み込めるのは、720KB/1.25MB/1.44MB のフロッピーディスクです。

・Macintosh でフォーマットされたフロッピーディスクです。

・弊社のパソコン以外でフォーマットしたフロッピーディスクだと、読み込めないことがあります。

・フロッピーディスクがフォーマットされていません。新しいフロッピーディスクには、そのままでは使用できないものもあります。

・1.25MBのフロッピーディスクが読み込めない場合は、3モードフロッピーディスクドライバーがインストールされていません。

Q

フロッピーディスクが認識されない

A

・BIOS メニューの [Onboard Devices Configuration] の [Floppy Disk Controller] を [Disabled] に設定すると、FDD が使用不可となります。OS 上からもこれらのデバイスが見えなくなります。

・フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに正しくセットします。フロッピーディスクドライブの中に引っかかっている場合は、フロッピーディスクを軽く押します。

・別のフロッピーディスクを読み込んでみて、正しく読み込める場合は、そのフロッピーディスクが壊れています。フロッピーディスクは直射日光や磁気を発するもの、高温を避け、湿気・水にさらされないように保管します。

アクセスランプの異常

Q

HDD/FDD/ ファイルベイランプが点灯したままになっている

A

・フロッピーディスクが壊れていませんか？　別のフロッピーディスクをドライブにセットし、[マイ コンピュータ] の [3.5 インチ FD] アイコンをダブルクリックしてフロッピーディスクを読み直してみてください。

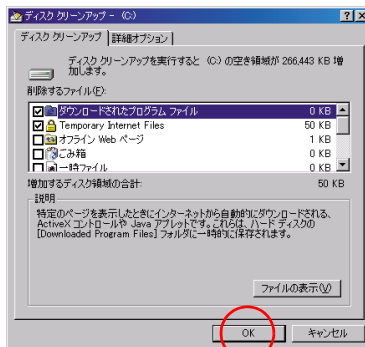
・HDD が壊れていませんか？　[エラーチェック] を実行して HDD にエラーがないかチェックしてください。[エラーチェック] は、[マイコンピュータ] で HDD アイコンを右クリックし、[プロパティ] で [ツール] タブを選択すると表示されます。

ハードディスクのトラブル

Q

ハードディスクの空き容量が少なくなった

A

・ディスククリーンアップを実行してインターネット一時ファイルなどを削除します。
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] が表示される。
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・不要なファイルを削除します。

・不要なアプリケーションを削除します。

・ハードディスクを増設し、ファイルを移動します。

・MO ドライブ装置などのファイル装置を増設し、ファイルを移動します。

Q

1 台のハードディスクに、複数のドライブを作りたい

A

再セットアップの際に複数の領域 (パーティション) を作成し、フォーマットすると、複数のドライブができます。

重 要

◎ パーティションを作成すると、HDD内のデータはすべて消去されます。

参照

複数の領域の作成について→『Windows を使えるようにする』3 章の「一括セットアップする」

その他の周辺機器のトラブル

Q

取り付けたあと、周辺機器が使えない

A

・ いったん周辺機器を取り外し、正しく取り付けます。

・ パソコンと周辺機器の電源を切り、周辺機器の電源を入れたあとでパソコンの電源を入れます。

・ ケーブルなどを正しく接続します。

・ 周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

参照

周辺機器の接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』の 2 章「周辺機器を接続する」

Q

増設したメモリー容量が増えていない、起動時に表示されるメモリー容量が異常である

A

・ メモリーボードを正しく取り付けます。

・ [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。表示される [システムのプロパティ] 画面でメモリー容量を確認します。ただし、[システムのプロパティ] 画面で表示されるメモリー容量は、実際の容量よりも若干 (8MB 程度) 少なく表示されます。

参照

メモリーボードの取り付けについて→『パソコンを準備する』3 章の「メモリーボードを取り付ける」

Q

無線 LAN で通信できない

A

・ 無線 LAN デバイスは使える状態ですか ?[Wireless] ランプが点灯していないときは、無線 LAN デバイスは無効です。[Wireless] ボタンを押して、有効にしてください。

・ 無線 LAN Client Manager をインストールしていますか ? インストールしていないときは、インストールしてください。

参照

インストールについて→ 3 章の「無線 LAN Client Manager」(P.41)

Q

LAN で通信できない

A

・ 接続する HUB と通信モード (速度や全二重 / 半二重の設定) を合わせます。接続する HUB にオートネゴシエーション機能がない場合は、10BASE-T/100BASE-TX などの設定を正しく合わせます。

・ 接続している HUB の電源を入れます。

・ サーバーが起動していることを確認します。

・ ケーブルなどを正しく接続します。

・ 100BASE-TXで使用しているときは、100BASE-TX用のケーブルをご使用ください。

・LAN ドライバーがインストールされているかご確認ください。

・ネットワークで使用するプロトコルが組み込まれているかご確認ください。

・NetWare サーバーとの接続に失敗する場合は、パソコンで IPX/SPX 互換プロトコルのフレームタイプを NetWare サーバーで使用しているフレームタイプに合わせてください。標準では「auto」です。

Q

10BASE5/10BASE-T を組み合わせたネットワークで通信できない、または遅い

A

ネットワークのトランシーバーや HUB の設定が正しくありません。10BASE5 のイエローケーブルと 10BASE-T の HUB を接続するトランシーバーの SQE スイッチが OFF に設定されているかご確認ください。その場合、トランシーバーケーブルにパソコンを直接接続しているならば、トランシーバーの SQE スイッチは ON に設定してください。
ただし、SQE スイッチを ON に設定すると、複数のメーカーのパソコンが 10BASE-T を使用している場合、LAN 機能の特性の違いで通信できないパソコンがあります。また、HUB の多段接続を行った場合、1 段目と 2 段目で通信状態が変わることがあります。

Q

データの送受信が遅くなる

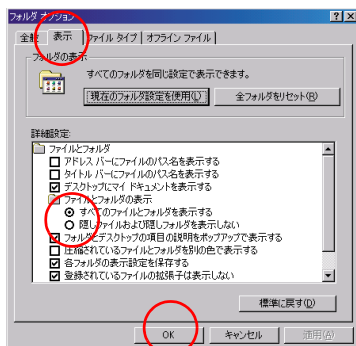
・HUB のコリジョンランプが点灯していませんか？　よく点灯する場合は、スイッチング HUB をご使用ください。

・Windows のコマンドプロンプトで、ファイルを転送していませんか？コマンドプロンプトで、ファイル転送などを長時間行っていると、データの送受信が遅くなることがあります。

ファイルがうまく管理できない

Q

エクスプローラで探しているファイルが見つからない

・隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダオプションの設定を変更します。
  1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ツール] ー [フォルダオプション] を選択する。
  2 [表示] タブをクリックし、[詳細設定] の [ファイルとフォルダの表示] を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択する。

3 [OK] ボタンをクリックする。

・正しいフォルダーを選択します。

・どのフォルダーに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。
1 [スタート] ボタン－ [検索] － [ファイルやフォルダ] を選択する。
2 [検索オプション>>]をクリックし、[日付]チェックボックスをオンにする。
3 [日付指定] を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して [検索開始] ボタンをクリックする。
4 検索されたファイルのフォルダーを確認する。

・新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認します。

Q

CD-ROM/DVD-ROM からコピーしたファイルを上書きできない

A

ファイル属性の読み取り専用を解除します。
1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [読み取り専用] のチェックを外す。
3 [適用] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
4 エクスプローラのウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

インターネット使用中のトラブル

Q

インターネットに接続できない

A

・外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

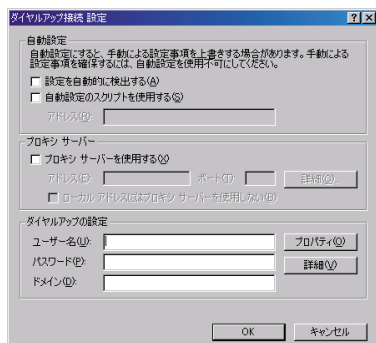
・接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

・接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

・接続先の電話番号が変わっていないか確認します。

・設定してある接続先の電話番号を確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択し、[ネットワークとダイヤルアップの接続] アイコンをダブルクリックする。
2 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] － [プロパティ] を選択する。
3 [全般] タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。

・ユーザー ID やパスワードを確認します。
1 [スタート] ボタンをクリックし、[インターネットウィザード] アイコンを右クリックして「インターネットのプロパティ」を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。

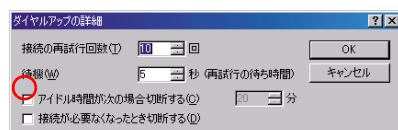
3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

・モデムの設定が正しいかを確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックする。
2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。
3 [ダイヤル情報] タブの [編集] ボタンをクリックし、国／地域、市外局番、ダイヤル方法を確認する。
4 [OK] ボタンをクリックし、[モデム] タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。
5 [プロパティ] ボタンをクリックし、[プロパティ] の [詳細] タブをクリックする。
6 [既定の設定を変更] ボタンをクリックし、[詳細] タブをクリックしてハードウェアの設定を確認する。

・ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [ネットワークとダイヤルアップ] アイコンをダブルクリックする。
3 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] － [プロパティ] を選択する。
4 [ネットワーク] タブの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
5 IP アドレス設定、ネームサーバーを確認する。

Q

接続中に突然回線が切れる

A

データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
3「ダイヤルアップの設定」の [詳細] ボタンをクリックする。
4 [アイドル時間が次の場合、切断する] にチェックが入っていることを確認し、アイドル時間を長くする。

・キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホン II に切り替えると解消します。

・接続先のサーバーがダウンしました。

・Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する] をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。

・回線にノイズが発生しました。

・システムスタンバイをオフにします。

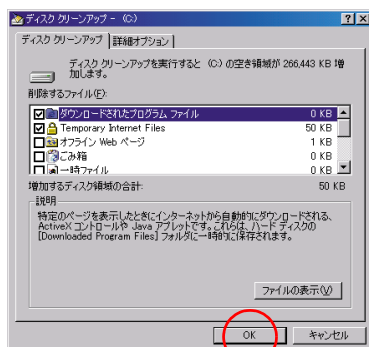
Q
接続中にパソコンの電源を切ってしまった

A
電話回線は強制的に切断されます。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

Q
ホームページが開かない

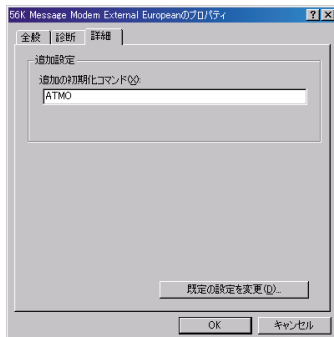
A
・URL の入力が正しいか確認します。

・指定した URL のホームページがなくなっています。

・ハードディスクの空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などでハードディスクの空き容量を増やします。
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・指定した URL のホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティーのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティーレベルを調整します。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [セキュリティ] タブをクリックし、[Web コンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[インターネット] が選択されていることを確認する。
3 [このゾーンのセキュリティのレベル] に表示されているつまみをドラッグしてレベルを下げる。つまみが表示されていないときは、[既定のレベル] ボタンをクリックしてつまみを表示する。

4「セキュリティのレベルを変更しますか？」という警告が表示される。[はい] ボタンをクリックする。
5 [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

Q
モデムの発信音がうるさい
A
モデムの発信音を消します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [電話とモデムのオプション] または、[モデム] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブで使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [詳細] タブをクリックする。

4 [追加設定] 領域に、ATMO と入力し、[OK] をクリックする。
5 [OK]、[閉じる] の順にクリックして終了する。

ヒント
★ 再び音を出す場合は、手順 4 で入力した「ATMO」を削除してください。

Q
転送スピードが遅い
A
・回線が混んでいます。時間帯によっては、転送スピードが遅くなる場合があります。しばらく時間をあけてからご使用ください。

・モデムの設定が間違っています。正しいモデムを選択します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブで使用するモデムを選択する。

インターネットブラウザーのトラブル

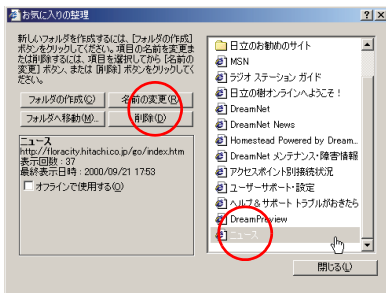
Q

「お気に入り」が増えすぎた

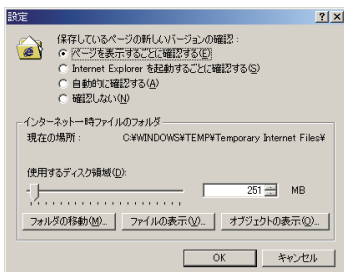
A

・フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

・お気に入りのページを削除します。
  1 インターネットエクスプローラを起動し、[お気に入り] ─ [お気に入りの整理] を選択する。
  2 削除するホームページを選択し、[削除] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリックする。

Q

開いたホームページが更新されていない

A

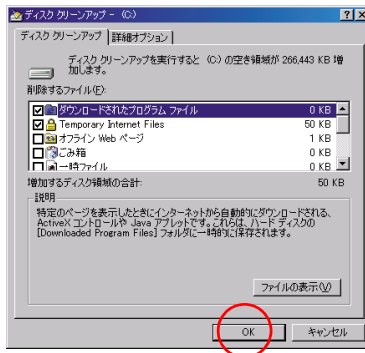
・キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。
  1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ─ [インターネットオプション] を選択する。
  2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [設定] ボタンをクリックする。
  3 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [ページを表示するごとに確認する]、[Internet Explorer を起動するごとに確認する]、[自動的に確認する] のいずれかを選択する。

・一時ファイルを削除します。
  1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ─ [インターネットオプション] を選択する。
  2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [ファイルの削除] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

参照

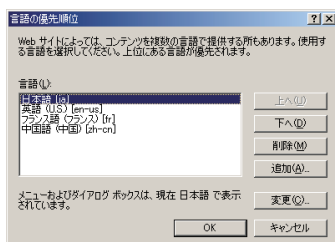
お気に入りの整理について→インターネットブラウザーのヘルプをご覧ください。

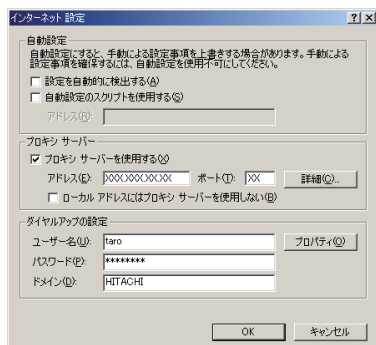
・ハードディスクのクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

Q
ホームページが文字化けする
A

・表示している文字の種類を日本語に変更します。
1 インターネットエクスプローラで、[表示] － [エンコード] － [日本語 (シフト JIS)] または [日本語 (自動選択)] を選択する。

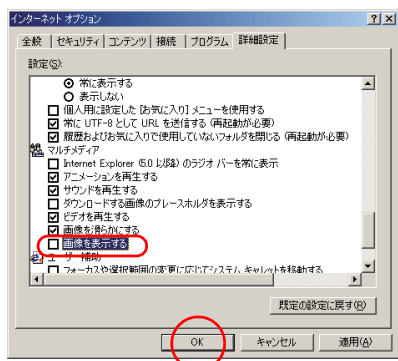
・日本語を優先して表示する設定に変更します。
1 インターネットエクスプローラで、[ツール] － [インターネットオプション] を選択する。
2 [全般] タブをクリックし、[言語] ボタンをクリックする。
3 [日本語 [ja]] を選択し、[上へ] ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語 [ja]] がないときは、[追加] ボタンをクリックし、[日本語 [ja]] を選択し [OK] ボタンをクリックする。

Q
ホームページの表示が遅い
A

・プロキシサーバーを利用します。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。

3 [プロキシサーバーを使用する] をチェックし、アドレスとポートを入力する。

・ 画像の表示をやめます。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。

2 [詳細設定] タブをクリックし、「マルチメディア」の [画像を表示する] のチェックを外す。

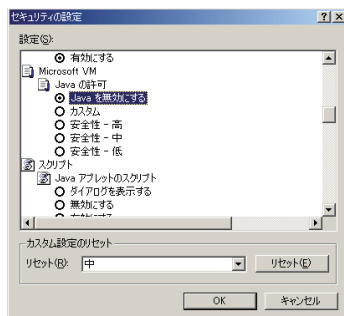
3 [OK] ボタンをクリックする。

・ ActiveX や Java を無効にします。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。

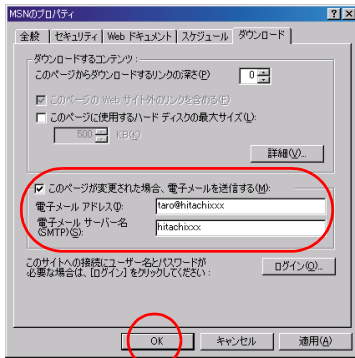
3 「ActiveX コントロールとプラグインの実行」の [無効にする] を選択し、「Java の許可」の [Java を無効にする] を選択する。

4 [OK] ボタンをクリックする。

Q

ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

A

ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。
2 [お気に入り] − [お気に入りに追加] を選択し、フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリックする。
3 [お気に入り] − [お気に入りの整理] を選択する。
4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する] をチェックする。[プロパティ] ボタンが表示される。
5 [プロパティ] ボタンをクリックする。[XXX のプロパティ] 画面が表示される。
6 [ダウンロード] タブをクリックする。
7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する] をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK] ボタンをクリックする。

8 [閉じる] ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

メールの送受信がうまくいかない

Q

メールの送受信ができない

A

・サーバーが停止しているかを確認します。

・受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。

1 Outlook Express を起動し、[ツール] − [アカウント] を選択する。
2 [メール] タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [サーバー] タブをクリックし、正しい受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。
4 [OK] ボタンをクリックする。

送信したメールが相手に届いていない

A

・宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。

・メールサーバーが停止しているかを確認します。

・添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さくしてもう一度送信します。

受信したメールが文字化けしている

A

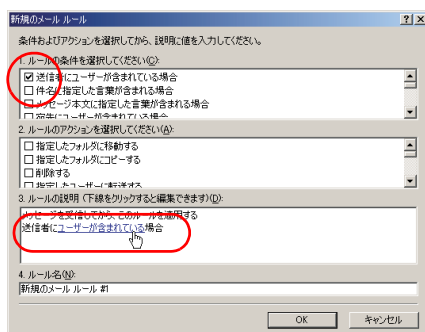
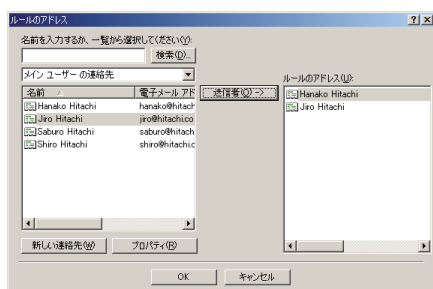
・表示するフォントを日本語にします。Outlook Express で、[表示] ─ [エンコード] ─ [日本語 (自動選択)] を選択します。

・添付データの送信形式を MIME の「Base 64 形式」または「なし」で送信するように送信相手に依頼します。

受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

A

受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、Outlook Express で、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

1 [ツール] ─ [メッセージルール] ─ [メール] を選択する。[メッセージルール] の [メールルール] タブが表示される。
2 [1. ルールの条件を選択してください] の [送信者にユーザーが含まれている場合] をチェックする。
3 [3. ルールの説明] の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリックする。

4 [アドレス帳] ボタンをクリックし、送信者を選択し [送信者] ボタンをクリックし、[ルールのアドレス] に表示する。他の送信者も選択する場合は、同様にする。[OK] ボタンを 2 回クリックし、[新規のメールルール] に戻る。

5 [2. ルールのアクションを選択してください] の [指定したフォルダに移動する] をチェックし、[3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「指定したフォルダ」をクリックする。
6 [アイテムの移動先] で受信メールを移動するフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
7 [4. ルール名] に分類する名称を入力し、[OK] ボタンを 2 回クリックする。

その他のソフトウェアのトラブル

Q

アプリケーションのインストール時、バージョン競合のメッセージが表示された

A

通常は、[はい] ボタンをクリックして新しいファイルを使用します。アプリケーションによって個別に指示がある場合は、その指示に従います。

Q

VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [圧縮ファイル] をチェックしても圧縮ファイルのスキャンが行われない

A

VShiled はファイルの圧縮、解凍時にスキャンを行います。

Q

VirusScan、VShield がうまく動作しない

A

・VirusScan はスケジューラでのネットワークドライブのスキャンは行いません。ネットワークドライブをスキャンするときは、[オンデマンドスキャン] をご使用ください。
・[スクリーンスキャン]、[cc:Mail スキャン] は動作しません。
・「書き込み禁止」となっているフロッピーディスクでコンピューターウィルスを発見した場合は、フロッピーディスクのライトプロテクトノッチを「書き込み可能」側に移動してからコンピューターウィルスへの操作を行ってください。ライトプロテクトノッチが「書き込み禁止」となったまま操作を行うと、画面の表示と実際の動作が異なる場合があります。
・VirusScan コンソールの [DAT の自動アップデート] の [ログ] タブで、[ログへの記録] チェックボックスをオフにしてもログが作成されます。
・VShield の [システムスキャンプロパティ] の [アクション] に表示されている次の設定項目は、設定しても正しく動作しません。設定しないでください。
[感染しているファイルをフォルダに移動]
[感染しているファイルからウィルスを駆除]
[感染しているファイルを削除]

付録

アプリケーションのお問い合わせ先

表に記載されていない添付ソフトウェアについては、『パソコンを準備する』の「お使いになる前に」、「お問い合わせ先」を参照ください。

アプリケーション名	問い合わせ先	電話番号	FAX 番号
Microsoft Office XP	スタンダードサポート	03-5354-4500 06-6347-4400	—
一太郎／ ATOK	ジャストシステムサポートセンター	03-5412-3980 06-6886-7160	—
AOL	AOL サポートセンター	0120-275-265	
BIGLOBE	BIGLOBE カスタマーサポート	0120-86-0962	—
ドリームネット	ドリームネット・インフォメーションセンター	0120-5656-86	03-5292-0144
isao	isao サポートセンター	0570-057-050	—
OCN	OCN インフォメーションデスク	0120-047-815	—
ODN	ODN サポートセンター	0088-86 (サービス案内) 0088-85 (接続サポート)	0088-22-8850
東京電話	TTnet お客様センター	0081-1588	—
インターネットマーク	株式会社 日立製作所 公共システム事業部 インターネットマークス事業推進 G	e-mail：internet-marks@ml.itg.hitachi.co.jp (e-mail のみのお問い合わせとなります)	
Easy CD Creator	HITAC カスタマ・アンサ・センタ	0120-2580-12	—
Norton Ghost 2002			

※2002 年 6 月 1 日現在のものです。
※インストールされているアプリケーションは、機種によって異なります。
※各ソフトウェアの責任元は、各開発元になります。
※添付ソフトウェア以外の市販のアプリケーションについては、各開発元にお問い合わせください。

さくいん

ほ

ま

む

め

も

り

わ

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・Intel、Pentium、LANDesk は Intel Corporation の登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

使い勝手を良くする

第 2 版　2002 年 6 月

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部
〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

NW0634000-2